

次期福津市総合計画策定に向けた
調査報告書(概要版)

平成29年3月
福津市

目次

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の内容	1
ア	現況の把握・現状分析	1
イ	市民等の意見の把握	1
ウ	市職員等の意見の把握	1
エ	総合計画の施策体系（案）の作成	1
(3)	調査の期間	1
2	調査結果	2
(1)	現況の把握・現状分析	2
ア	人口推計	2
イ	現況調査	5
(2)	市民等の意見の把握	6
ア	地域別意見交換会の意見まとめ	7
イ	広報誌アンケートの意見まとめ	9
ウ	市民アンケート調査結果	12
エ	キックオフフォーラムのアンケート結果	29
(3)	市職員等の意見の把握	31
ア	分野別ワーキング会議（民間と行政の意見交換会を含む）の意見まとめ	31
イ	職員アンケートの意見まとめ	33
(4)	総合計画の施策体系（案）の作成	36
ア	総合計画の施策体系案（案）と各調査結果のまとめ	36

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、福津市（以下、本市）の次期総合計画策定に向けて、本市の現状を分析し、人口の変動や各分野における課題を把握したうえで、本市の将来における目標像を設定し、その実現に向けて必要な方策を検討するための基礎調査として実施したものである。

(2) 調査の内容

ア 現況の把握・現状分析

- (ア)人口推計
- (イ)現況調査

イ 市民等の意見の把握

- (ア)地域別意見交換会の意見まとめ
- (イ)広報誌アンケートの意見まとめ
- (ウ)市民アンケート調査結果
- (エ)キックオフフォーラムのアンケート結果

ウ 市職員等の意見の把握

- (ア)分野別ワーキング会議（民間と行政の意見交換会を含む）の意見まとめ
- (イ)職員アンケートの意見まとめ

エ 総合計画の施策体系（案）の作成

- (ア)総合計画の施策体系（案）と各調査結果のまとめ

(3) 調査の期間

平成 28 年 6 月 10 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

2 調査結果

(1) 現況の把握・現状分析

ア 人口推計

(ア) 推計方法

人口推計は、コーホート変化率法により、図 1 の仮定のもと実施した。人口推計は、「行政区別」「地域別」「全市」に実施しており、それぞれの推計の整合性をとるため、図 2 に示す調整を実施している。

図 1 推計方法の概要

基礎となる人口	2016年10月31日現在及び2011年10月31日現在の住民基本台帳人口(外国人を含む)
5歳以上の5歳階級別男女別人口の推計方法	<p>5年後の(n+5)～(n+9)歳の推計人口 =現在のn～(n+4)歳の推計人口×コーホート変化率</p> <p>コーホート変化率 $= \frac{2016年現在の((n+5)歳～(n+9)歳)人口}{2011年現在の(n～(n+4)歳)人口}$</p> <p>例: 2031年の15～19歳人口=2026年の10～14歳人口 × $\frac{2016年の15～19歳人口}{2011年の10～14歳人口}$</p> <p>コーホート変化率の異常値の補正 前回のゼロ人から今回1人以上となった場合 変化率を1とする。 5～89歳について、変化率が2を超えた場合 変化率を2とする。 90歳以上について、変化率が1を超えた場合 変化率を1とする。</p>
0～4歳の男女別人口の推計方法	<p>その年の0～4歳人口 $= \text{その年の20～39歳女性人口} \times \frac{2016年の0～4歳人口}{2016年の20～39歳女性人口} \quad (\text{子ども女性比})$</p> <p>なお、男女比は一定(男:女=105:100)として推計している。 0～4歳の男性人口=上記0～4歳人口×105/205 0～4歳の女性人口=上記0～4歳人口×100/205</p>

図 2 推計調整の概要

全市推計と地域別推計の調整	<p>全市推計結果と地域別推計結果の合計を比較し、5歳階級別男女別に調整を実施</p> $\text{調整後の地域別推計} = \text{調整前の地域別推計} \times \frac{\text{全市推計結果}}{\text{調整前の地域別推計の合計}}$
地域別推計(調整後)と行政区別推計の調整	<p>調整後の地域別推計結果と地域別推計結果の合計を比較し、5歳階級別男女別に調整を実施</p> $\text{調整後の行政区別推計} = \text{調整前の行政区別推計} \times \frac{\text{調整後の地域別推計結果}}{\text{調整前の行政区別推計の合計}}$
その他	<p>人口ビジョンに掲載している推計とは、元データ及び推計方法が異なるため一致しない。各推計とも、2011年と2016年の変化をもとに推計を行っているため、特に人口が少ない単位では、推計の振れ幅が大きくなる。 推定児童数は、5～9歳の3/5と10～14歳の3/5を足して計算しており実際の数値とは異なる。 推定生徒数は、10～14歳の2/5と15～19歳の1/5を足して計算しており実際の数値とは異なる。 各推計結果は、小数点未満を四捨五入している。</p>

なお、開発によって急激な人口の増加が想定される日蒔野地区および福間地区のサンピア跡地については、次の仮定のもと推計を実施した。

【日蒔野地区】

- ・ 推計 1-① 現在の人口増加が 2018 年まで続き、2019 年以降は移動による増加なしと仮定した。
- ・ 推計 1-② 現在の人口増加が 2019 年まで続き、2020 年以降は移動による増加なしと仮定した。
- ・ 推計 1-③ 現在の人口増加が 2020 年まで続き、2021 年以降は移動による増加なしと仮定した。
- ・ 推計 2-① 現在の人口増加が 2018 年まで続き、2019 年以降は全市平均並みの人口移動と仮定した。
- ・ 推計 2-② 現在の人口増加が 2019 年まで続き、2020 年以降は全市平均並みの人口移動と仮定した。
- ・ 推計 2-③ 現在の人口増加が 2020 年まで続き、2021 年以降は全市平均並みの人口移動と仮定した。

【サンピア跡地】

福間地域において計画されているサンピア跡地における開発の状況及び出生率等を次のとおり仮定した。

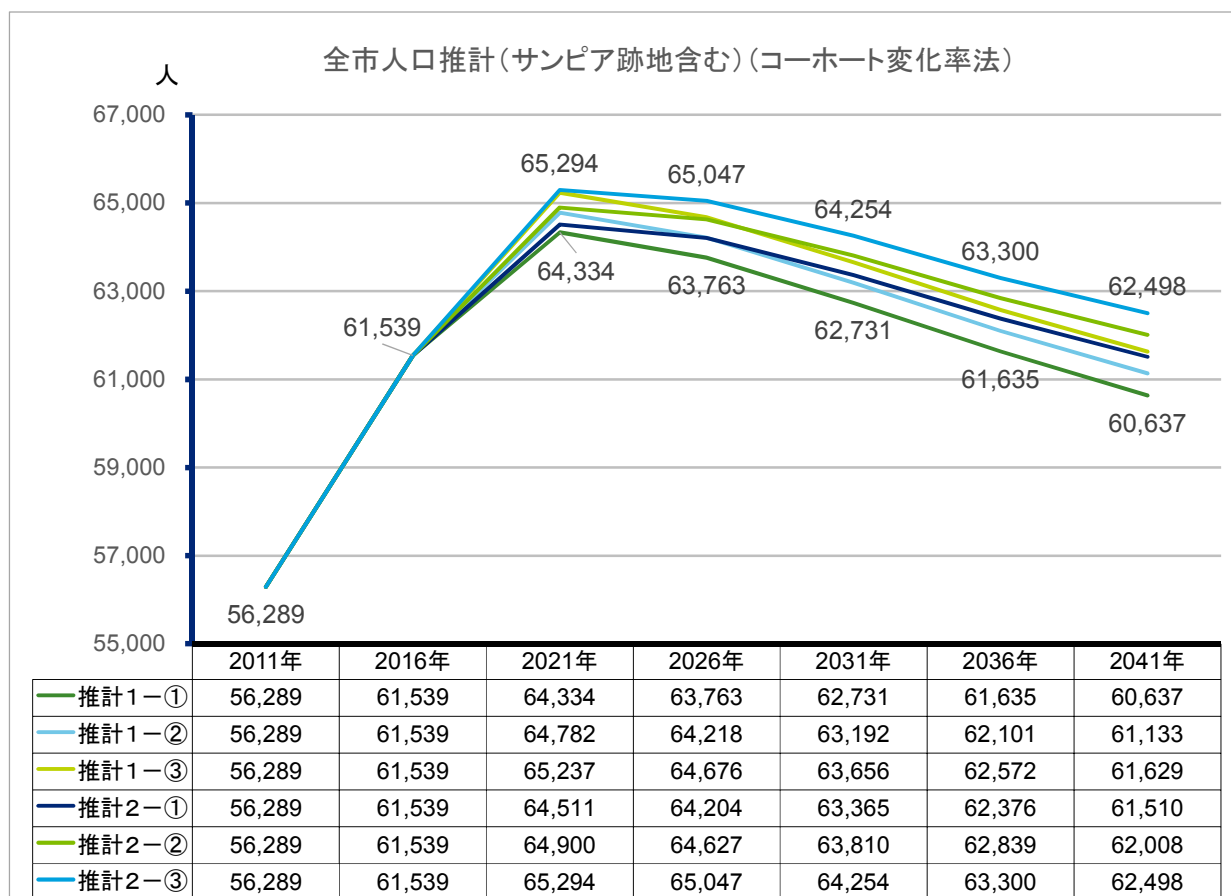
- ・ 2021 年 10 月 31 日現在の人口
 - 想定世帯数 484 世帯、一世帯当たり平均人数 3.5 人（日蒔野 3 区と同様と推定） ⇒ 1,694 人
 - 年齢構成 日蒔野 3 区の 2016 年 10 月 31 日現在の構成と同様と仮定し、上記人口を按分
- ・ 2021 年以降の推計方法
 - 日蒔野地区の推計 1 と同様に、転入超過による増加なし、死亡減ありと仮定した。

(イ) 調査結果

(ア) の仮定で実施した全市人口推計の結果は、図 3 のとおりである。サンピア跡地は、2021 年に約 1,700 人に達する見込みとなっている。また、推計 2-③では、2021 年に全市の人口が 6 万 5 千人前後に達する見込みとなっている。

なお、当推計結果は過去の変化率によるため、今後の開発等は考慮していない。また、国勢調査ベースの人口と比較すると約 1,100 人～1,200 人程度多くなっている。

図 3 全市人口推計（サンピア跡地を含む）



イ 現況調査

人口推移や各分野における本市の状況調査、他市との比較、地域経済分析システム (RESAS) を用いた現況分析などを実施した (図 4)。

図 4 現況調査【一部抜粋】

No.	分類	指標名	指標算式	単位	データ出所	福津市 (A)	順位 (値 の大きいほう から)	対象各市 平均値 (B)	偏差	(参考)		
										宗像市	古賀市	糸島市
1	基本情報	面積	行政区内面積	km ²	全国都道府市区町村面積調(2016年10月1日現在)	52.76	4	73.60	△ 3.10	119.91	42.07	215.70
2	基本情報	可住地面積割合	可住地面積/行政区内面積*100	%	全国都道府市区町村面積調(2016年10月1日現在)	73.94	2	65.31	6.14	59.32	67.36	54.45
3	基本情報	人口	人口総数(住民基本台帳)	人	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	60,263	7	87,811	△ 13.09	96,700	58,389	100,126
4	基本情報	人口男女比率(男性を100とした場合の女性の比率)	人口女(住民基本台帳)/人口男(住民基本台帳)*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	113.03	1	109.16	19.44	109.79	108.64	109.69
5	基本情報	人口密度	人口総数/面積(km ²)	人/km ²	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	1,142.21	6	2,386.29	△ 5.00	806.44	1,387.90	464.19
6	基本情報	外国人数	外国人数(住民基本台帳)	人	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	293	8	520.63	△ 16.65	558	468	665
7	基本情報	外国人割合	外国人数/人口総数(住民基本台帳)*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	0.49	8	0.60	△ 10.32	0.58	0.80	0.66
8	基本情報	年少人口割合	15歳未満人口/人口総数*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	14.38	6	14.69	△ 3.53	13.83	14.39	13.49
9	基本情報	生産年齢人口割合	15~64歳人口/人口総数*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	57.80	8	61.25	△ 14.02	59.41	61.93	60.03
10	基本情報	老年人口割合(高齢化率)	65歳以上人口/人口総数*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	27.82	1	24.06	11.79	26.76	23.69	26.48
11	基本情報	年少人口指数	15歳未満人口/15~64歳総数	-	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	0.25	2	0.24	9.39	0.23	0.23	0.22
12	基本情報	老年人口指数(老年化指数)	65歳以上人口/15~64歳人口	-	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	0.48	1	0.40	12.83	0.45	0.38	0.44
13	基本情報	従属人口指数	15歳未満人口+65歳以上人口/15~64歳人口	-	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	0.73	1	0.63	14.52	0.68	0.61	0.67
14	基本情報	合計特殊出生率	合計特殊出生率	-	人口動態調査(2008年~2012年)	1.40	6	1.46	△ 7.13	1.37	1.52	1.37
15	基本情報	普通出生率(人口1000人当たりの出生数)	出生数/総人口*1000	-	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	9.06	4	9.17	△ 0.92	9.10	8.70	7.37
16	基本情報	人口1000人当たり死亡者数	死亡数/総人口	-	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	9.54	2	8.26	10.29	9.14	7.57	9.73
17	基本情報	人口1000人当たり婚姻件数	婚姻件数/総人口*1000	-	2014年人口動態調査(2014年中)	4.31	7	4.69	△ 7.10	4.36	4.97	3.96
18	基本情報	人口1000人当たり離婚件数	離婚件数/総人口*1000	-	2014年人口動態調査(2014年中)	1.49	7	1.74	△ 12.11	1.45	1.87	1.69
19	基本情報	転入率	転入者数/総人口*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	5.84	4	5.34	5.81	4.10	5.19	4.05
20	基本情報	転出率	転出者数/総人口*100	%	住民基本台帳(2016年1月1日現在)	3.86	7	5.03	△ 12.26	4.20	5.27	3.81

(2) 市民等の意見の把握

まちづくりに関する市民の意識・意向を把握するため、次の3つの調査を実施した。

- ・ 郷づくり地域別（8地域）意見交換会
- ・ 広報誌を通じたアンケート
- ・ 市民アンケート

平成28年7月3日に開催されたキックオフフォーラムでの参加者アンケートの結果を含めた、市民の意識・意向の調査結果は、次のアからエのとおりである。

ア 地域別意見交換会の意見まとめ

(ア) 調査の流れ

郷づくりに携わる市民の方との意見交換会を郷づくり 8 地域で実施した。地域別意見交換会の開催概要及び意見交換会のテーマは、図 5、図 6 のとおりである。

図 5 地域別意見交換会の開催概要

地域	日程	参加人数※	開催場所
勝浦	平成 28 年 10 月 4 日	18 人	あんずの里ふれあいの館
津屋崎	平成 28 年 9 月 13 日	16 人	津屋崎行政センター大会議室
宮司	平成 28 年 9 月 15 日	19 人	宮司コミュニティセンター
福間	平成 28 年 8 月 20 日	19 人	福間郷づくり交流センター
神興	平成 28 年 10 月 27 日	17 人	東福間中央公民館
上西郷	平成 28 年 10 月 7 日	17 人	上西郷小学校内郷づくり事務所
神興東	平成 28 年 9 月 27 日	23 人	神興東小学校図書室
福間南	平成 28 年 11 月 24 日	20 人	福間南郷づくり交流センター

※行政側出席者、地域担当職員、傍聴者等を除いた人数

図 6 地域別意見交換会のテーマ

テーマ	案内内容
郷づくり活動について	私たちの地域をよりよくするために、これまでの「郷づくり活動」を踏まえたうえで、これからの「郷づくり活動」について、自由に意見を出し合ってください。
私たちがのぞむこれからの福津市	これからの福津市にのぞむこと、そのために私たちができることなどについて、自由に意見を出し合ってください。
お住まいの地域の生活環境における課題 (道路、交通、住環境など)	お住まいの地域の生活環境をよりよくするために、また、次の世代に引き継いでいくために、求められることや必要な取組などについて、自由に意見を出し合ってください。

(イ) 調査結果

全 8 地域の意見交換会を通じて、合計 1,151 件の意見を収集した。分野別では、地域が 574 件であり、生活環境が 315 件であった (図 7)。主な意見は次のとおりである。

- ・ 地域に関する意見では、「役割分担の明確化、連携の推進」に関する意見が最も多く、具体的には、自治会と郷づくりの役割の見直しや市職員の積極的な参加などの意見が出ている。
- ・ 地域に関する意見では、「財源、資金の確保、負担の軽減」に関する意見が 2 番目に多く、具体的には、役員への手当や予算の増額を望む意見が出ている。
- ・ 生活環境に関する意見では、「道路・交通」に関する意見が最も多く、ミニバスの増便及び路線変更や、個別の道路の整備を望む意見が出ている。
- ・ こども・教育に関する意見について、福間地域や福間南地域では「子育て支援」に関する意見が多い一方、勝浦地域では「小学校児童の確保」を望む意見が多い。
- ・ 産業振興に関する意見では、特産品やブランドの開発、企業誘致、観光ルートや観光資源の充実などの意見が出ている。

図 7 地域別意見交換会における各地域からの意見収集表

小分類（郷づくり、都市計画関連のみ）		勝浦 (10/4)	津屋崎 (9/13)	宮司 (9/15)	福間 (8/20)	神興 (10/27)	上西郷 (10/7)	神興東 (9/27)	福間南 (11/24)	計
01_地域 (郷づくり)	地域（郷づくり） 計	80	74	100	89	49	34	63	85	574
	A01_地域自治への加入、参加促進	18	4	11	8	5	0	6	6	58
	A02_役割分担の明確化、連携の推進	5	4	10	12	15	1	17	20	84
	A03_財源、資金の確保、負担の軽減	11	6	10	8	4	10	6	19	74
	A04_拠点の整備	5	4	1	2	0	0	3	2	17
	A05_人材の確保、育成	4	5	12	11	2	1	5	8	48
	A06_コミュニケーションの強化	0	6	5	5	0	2	2	4	24
	A07_情報発信、情報提供の推進	7	5	6	8	9	1	8	13	57
	A08_子育て支援活動	1	0	1	5	0	1	3	1	12
	A09_防犯防災活動	7	9	17	3	4	3	2	7	52
	A10_地域福祉活動	4	2	3	4	6	3	6	0	28
	A11_環境景観活動	7	17	11	15	3	9	1	0	63
	A12_まつり・文化活動	6	6	7	3	1	2	1	0	26
A99_その他	5	6	6	5	0	1	3	5	31	
05_生活環境 (都市計画)	生活環境（都市計画） 計	48	31	41	41	27	18	52	57	315
	B01_土地利用規制	1	3	0	1	1	3	1	0	10
	B02_道路・交通	19	11	21	20	14	9	25	20	139
	B03_下水・雨水対策	2	1	0	0	0	0	0	2	5
	B04_景観	3	1	9	3	1	0	4	3	24
	B05_住宅・住環境	19	12	3	5	9	5	19	15	87
	B06_公園	4	1	6	3	2	0	1	12	29
	B99_その他	0	2	2	9	0	1	2	5	21

大分類	中分類	勝浦 (10/4)	津屋崎 (9/13)	宮司 (9/15)	福間 (8/20)	神興 (10/27)	上西郷 (10/7)	神興東 (9/27)	福間南 (11/24)	計
02_こども・教育	0201_子育て支援	1	1	2	4	0	2	6	1	17
	0202_こども	1	1	1	3	0	1	5	6	18
	0203_学校教育	7	0	0	4	0	1	4	2	18
03_文化・教育	0301_生涯教育	1	11	0	3	2	1	0	2	20
04_健康・福祉	0401_健康・医療	1	0	2	0	2	0	1	1	7
	0402_高齢者	1	0	0	0	1	0	5	8	15
	0403_障がい者	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	0404_低所得者	0	0	0	1	0	0	1	0	2
06_産業振興	0601_農業・漁業	4	2	8	3	0	2	3	2	24
	0602_商工業	3	5	4	3	1	1	12	4	33
	0603_観光	3	5	10	2	0	0	6	2	28
07_行政経営	0701_行政経営	3	2	8	4	2	0	9	3	31
	0702_情報発信・ICT	1	1	6	4	0	0	3	4	19
	0703_連携と協働	0	0	2	1	0	0	1	0	4
その他	9999_その他	0	11	5	2	2	1	0	3	24

意見計	154	144	189	164	86	61	172	181	1,151
------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	------------	------------	--------------

イ 広報誌アンケートの意見まとめ

(ア) 調査の流れ

市の現状に関する市民の意見を収集する方法の一つとして、本市が発行する広報誌にアンケートはがきを掲載し、市民意見の収集を行った。アンケートはがきは、「郷づくり」(9月15日号)、「こども」(10月15日号)、「教育・学び」(11月15日号)、「健康・福祉」(12月15日号)、「生活環境」(1月15日号)、「産業振興」(2月15日号)の6分野に分けて実施した。

(イ) 調査結果

アンケートはがきは132枚の返信があり、計202件の意見を収集した(平成29年3月22日時点。1枚のアンケートはがきに複数分野の意見が記載されている場合は、別の意見としてカウントしている)。

① アンケートはがき回答者の属性情報

アンケートはがきの回答者のうち、106人(80%)の回答者が女性であった(図8)。また、年齢層は30歳代が36人(27%)で最も多く、40歳代が24人(18%)が続いている(図9)。地域別では、福間地域が50人(38%)で最も多い一方、上西郷地域は1人(1%)、勝浦地域は0人(0%)であった(図10)。

図8 広報誌アンケート回答者の性別

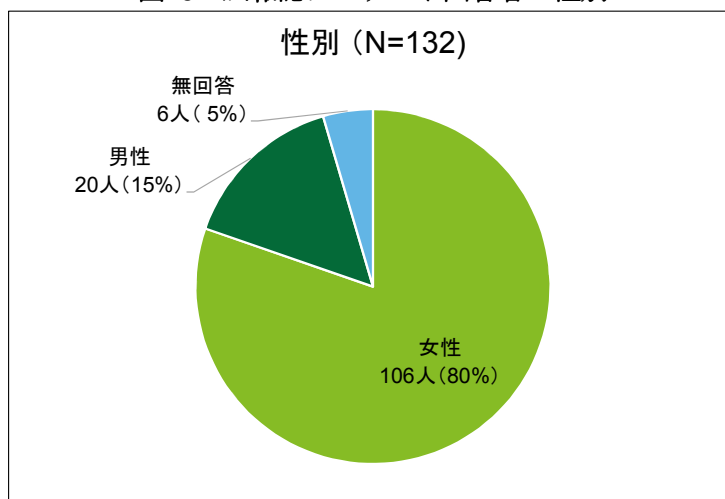


図9 広報誌アンケート回答者の年齢

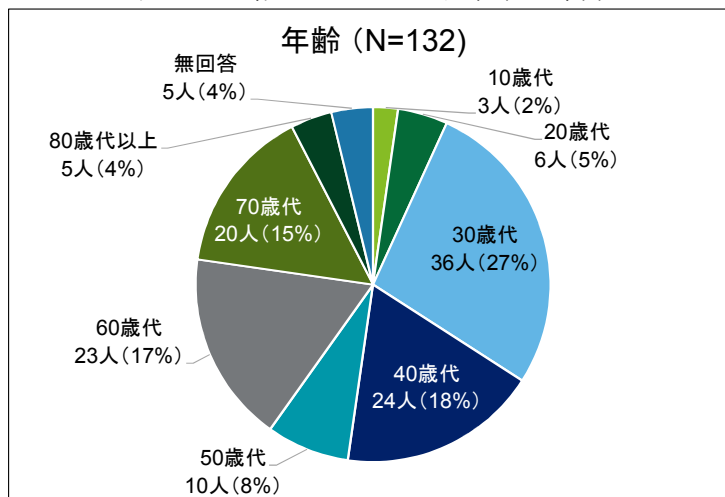
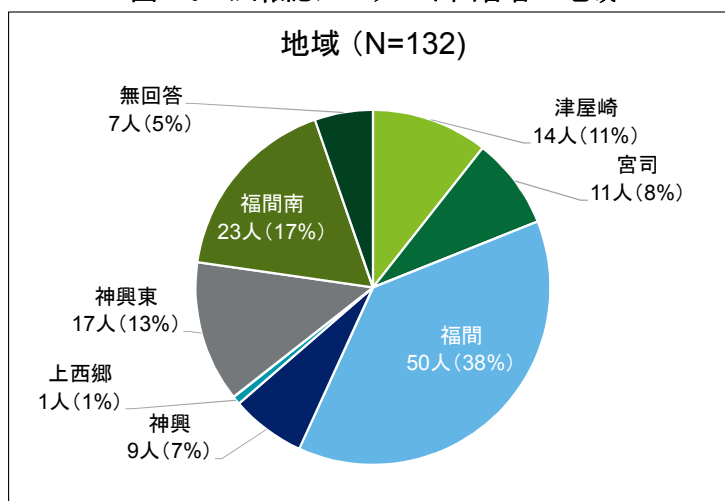


図 10 広報誌アンケート回答者の地域

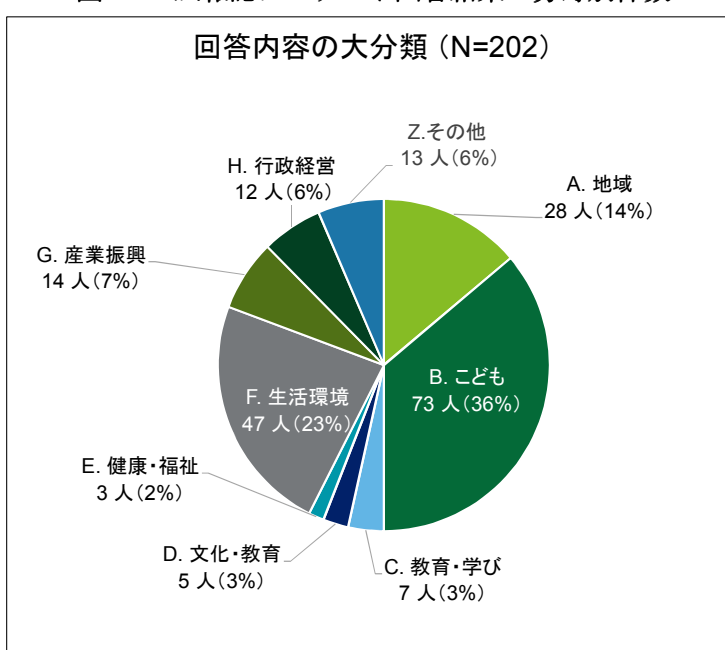


② 回答結果の集計

アンケートはがきの回答について、回答内容から「地域」、「こども」、「教育・学び」、「文化・教育」、「生活環境」、「健康・福祉」、「産業振興」、「行政経営」、「その他」の9種類の大分類と26種類の小分類に仕分けした。また、仕分けした回答を地域別に集計した。

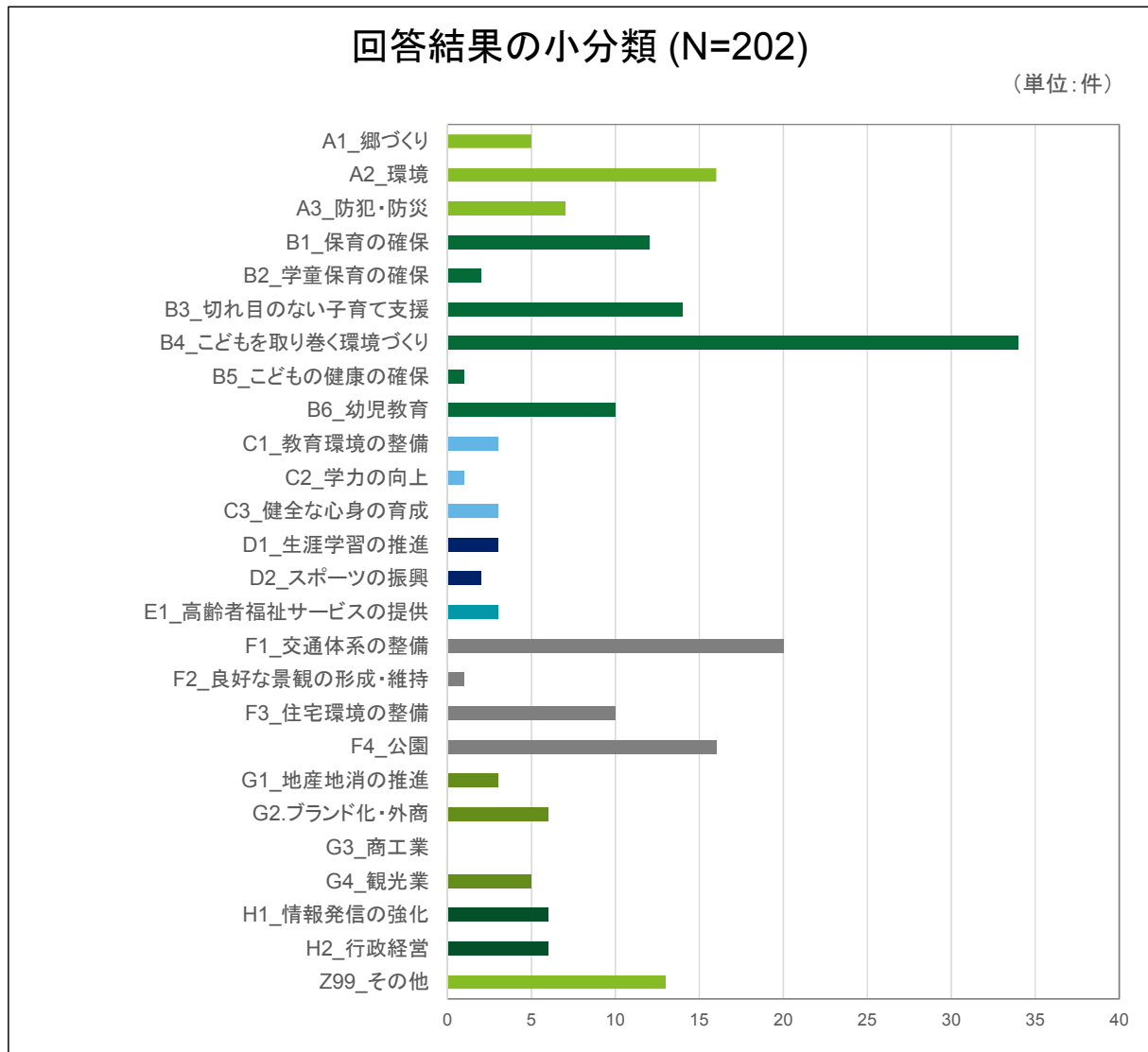
回答内容の大分類では、「こども」が73件(36%)で最も多く、その次が「生活環境」の47件(23%)であった(図11)。

図 11 広報誌アンケート回答結果の分野別件数



小分類での集計では、「こども」は、「こどもを取り巻く環境づくり」に関することが34件で最も多く、その次が「切れ目のない子育て支援」に関することの14件であった。また、「生活環境」では、「交通体系の整備」に関することが20件で最も多く、そのほかは、「公園」に関することが16件、「住宅環境の整備」に関することが10件、「良好な景観の形成・維持」に関することが1件であった(図12)。

図 12 広報誌アンケート回答結果の内訳



ウ 市民アンケート調査結果

(ア) 調査の流れ

市民アンケート調査は、本市に住民登録している方の中から無作為に抽出した18歳以上の市民4,000人と、市内の中学2年生全員496人を対象に実施した。市民アンケートにおいて地域ごとの意向をより詳しく把握するため、18歳以上の市民4,000人に対するアンケートについては、市内8つの郷づくり地域ごとに異なる設問を用意し、郷づくり地域毎に500人を対象とした。市民アンケートの概要については、図13のとおりである。

図13 市民アンケートの概要

調査実施時期	平成29年2月7日～平成29年2月21日
調査対象者数	4,496人（地域別：4,000人、中学2年生：496人）
調査方法	郵送法（中学2年生対象のアンケートは学校を通じて配布・回収）

(イ) 調査結果

市民アンケートは、合計2,457通（地域別2,005通、中学2年生：452通）の回答があった（平成29年2月28日時点）。

市民アンケート調査結果の分析（概要）

全市共通設問に関するまとめ

1. まちづくり全般

- 快適な住環境であるかについて、4人のうち3人は快適と評価しており、快適との評価は増加傾向にあります。
- これからも福津市に住み続けたいという回答は、77.9%であり、増加傾向にあります。
- 平成17年に実施した調査と比較すると、全ての項目で、満足度のスコアが上昇しています。特に、上下水道の充実で大きく上昇しています。
- 今後のまちづくりに大事なことについて、前回調査（平成17年）に比べ、「子育て支援（保育、医療など）」、「学校教育」、「地域福祉（高齢者、障がい者など）」、「防犯・防災」で大きく増加しています。
- 福津市のめざすべき将来像について、「豊かな自然環境を大切にすまち」が大きく減少し、「子どもが安全に育つまち」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が大きく増加しています。

2. 各種施策（情報発信、防犯・防災、道路、バス、公園、地域活動）

- 市からの情報発信について、情報を受け取る手段は、「広報ふくつ」が最も多く9割近くであり、市から発信してもらいたい情報は、防災や福祉、健康に関する情報が多くなっています。
- 防犯や防災の面で不安に思うことについて、街灯が少ない・暗いことや防災無線が聞こえないことを挙げる回答が多くなっています。
- ふくつミニバスについて、2割程度が利用経験があり、利便性がよくなれば利用したいのは4割程度となっています。
- 公園について、ボール遊びなどができる公園が近くになったほうがいいとの回答が最も多くなっています。
- 地域活動について、内容によって取り組む単位が大きく異なっています。地域活動への参加状況を見ると、参加している割合は5割を超えています。

地域別の設問に関するまとめ

1. 地域での暮らしで困っていること

- 最も多いのが、勝浦、津屋崎、宮司、上西郷の各地域では「バスなどの交通の利便性が悪い」、神興、神興東地域では「買い物する場所がない」であり、神興東地域では「防犯灯が少なく、夜道が暗い」も多くなっています。福間地域では「交通渋滞がひどい」が多く、福間南地域では、「交通安全対策」や「交通渋滞」に対する回答も多くなっています。

2. 地域で大事だと思うもの

- 各地域とも、自然環境、駅、商業施設に関するものが多くなっています。

3. 買い物について

- 場所は、福間、勝浦、福間南地域では、「地域内」が多く、それ以外では、「福津市内の他地域」が多く、交通手段は自家用車が多くなっています。

4. 空き地や空き家対策について

- どの地域でも「空き家所有者と移住希望者の仲介制度」「空き地の管理を委託できる制度」が多く、この2つで7割程度となっています。

5. 農業について（勝浦、上西郷地域のみ）

- 農業の担い手を増やすための市の取り組みとしては、「害獣（イノシシなど）の対策」との回答が最も多く30%を超えています。

6. 今後の海岸や松林について（津屋崎、宮司、福間地域のみ）

- 現状のままで良いとの回答が半数近くを占めています。

7. 地域活性化のために必要なこと（津屋崎、神興地域のみ）

- 津屋崎地域では「交通の利便性の向上」、神興地域では、「買い物の利便性の向上」が最も多くなっています。

8. 東福間駅周辺活性化のために有効なこと（神興、神興東地域のみ）

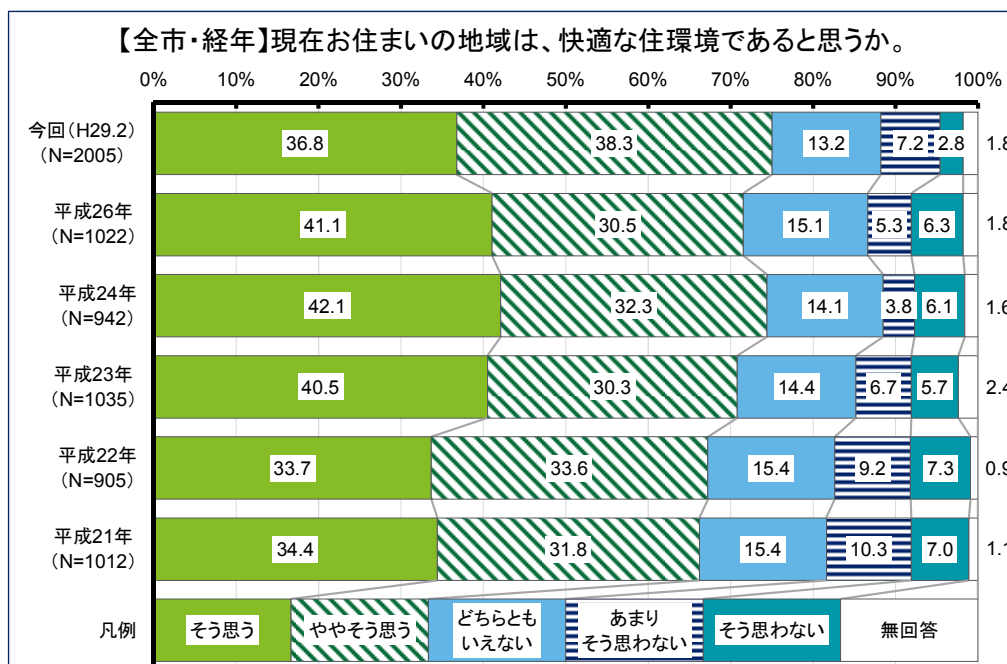
- 「駅前駐車場の整備による駅利用の利便性の向上」が両地域とも多くなっています。

9. 地域のまとまりに対する評価（津屋崎、宮司、福間、神興地域のみ）

- 「まあまあ良いほうだと思う」との回答が全ての地域で多くなっています。

快適な住環境であるかについて、4人のうち3人は快適と評価しており、快適との評価は増加傾向にあります。

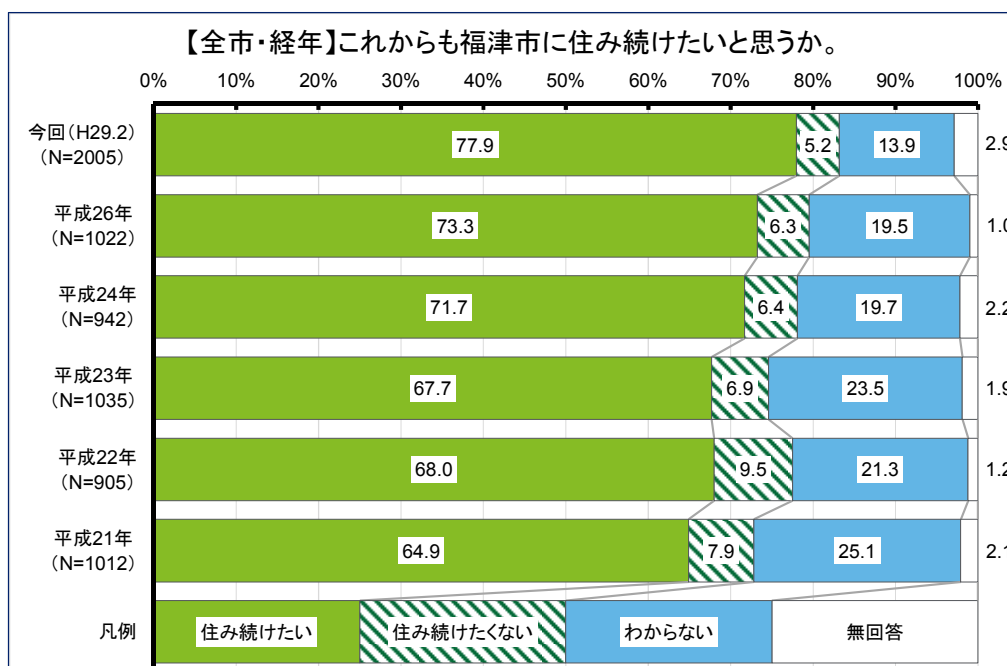
居住地域の住みやすさ



- 現在住んでいる地域が快適な住環境であるかについてみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的回答は75.1%であり、4人のうち3人は快適と評価している。
- 経年比較でみると、肯定的回答は増加傾向にあり、否定的回答は減少傾向にある。
- 地域別にみると、肯定的回答は、福間、福間南地域で多く、勝浦、津屋崎、上西郷地域で少ない。性別では、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、10歳代、40歳代、80歳以上で肯定的回答が多い。

これからも福津市に住み続けたいという回答は、77.9%であり、増加傾向にあります。

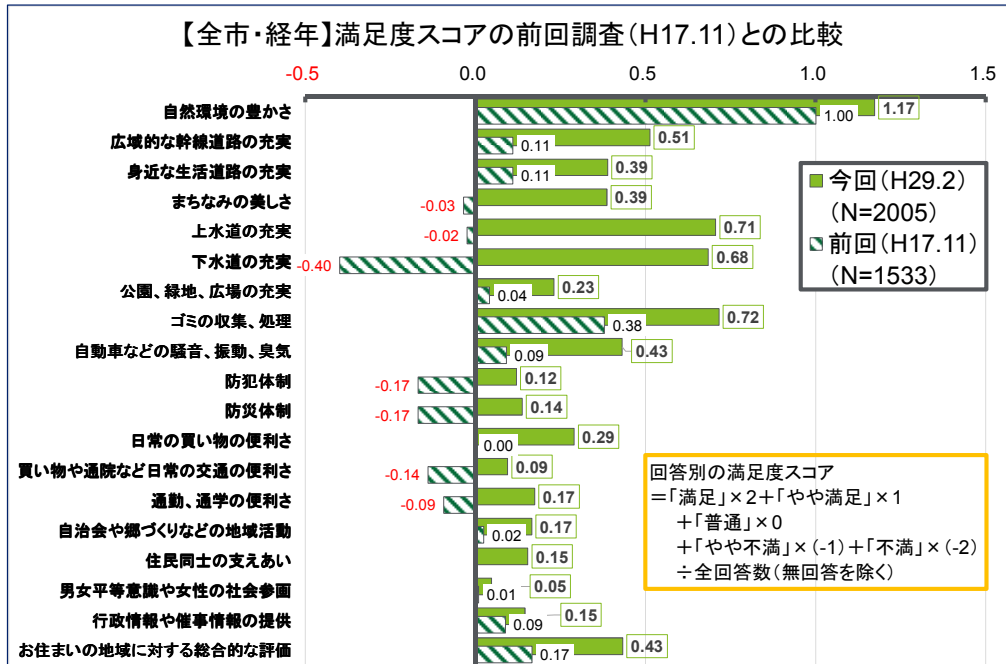
福津市への定住意向



- これからも福津市に住み続けたいと思うかについてみると、「住み続けたい」という回答は、77.9%となっている。
- 「住み続けたい」という回答は、経年比較でみると、増加傾向にある。
- 地域別にみると、福間南地域で特に多い。
- 性別にみると、女性が少し少ないが大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、10歳代、20歳代で「わからない」という回答が多くなっている。

平成17年に実施した調査と比較すると、全ての項目で、満足度のスコアが上昇しています。特に、上下水道の充実で大きく上昇しています。

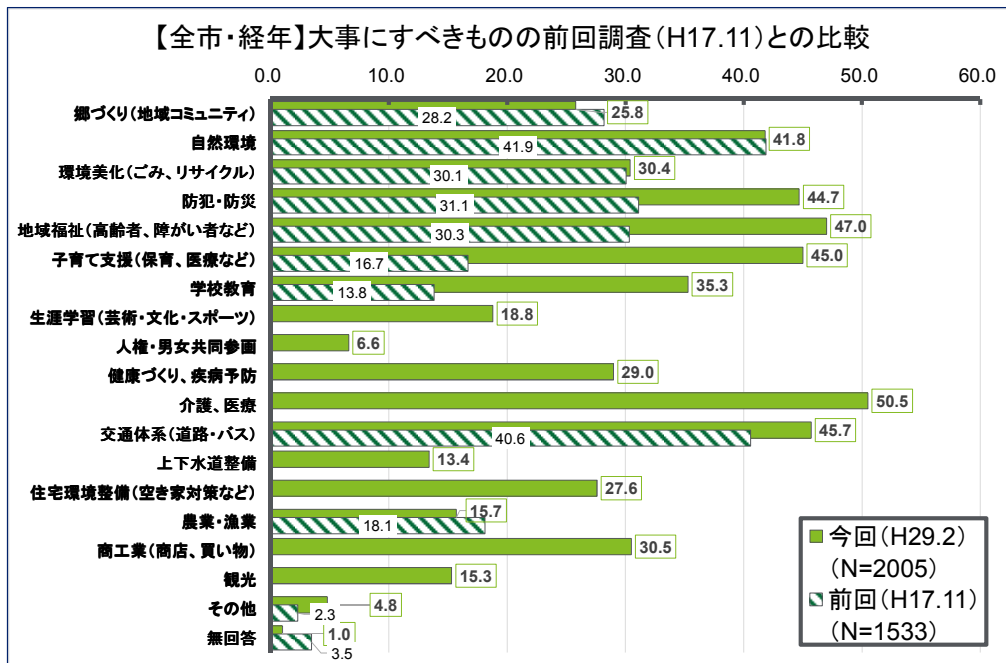
満足度の評価



- 満足度について、(第1次)総合計画策定にあたり平成17年11月に実施した調査と比較すると、全ての項目で、満足度スコアが上昇している。また、前は、マイナス項目が7項目あったが、今回はない。
- 差をみると、下水道の充実が、マイナス0.40からプラス0.68と大きく上昇しており、上下水道の充実もマイナス0.02からプラス0.71と大きく上昇している。
- 全体でみると、自然環境の豊かさについて満足度が高くなっている。

前回調査(平成17年)に比べ、「子育て支援(保育、医療など)」、「学校教育」、「地域福祉(高齢者、障がい者など)」、「防犯・防災」で大きく増加しています。

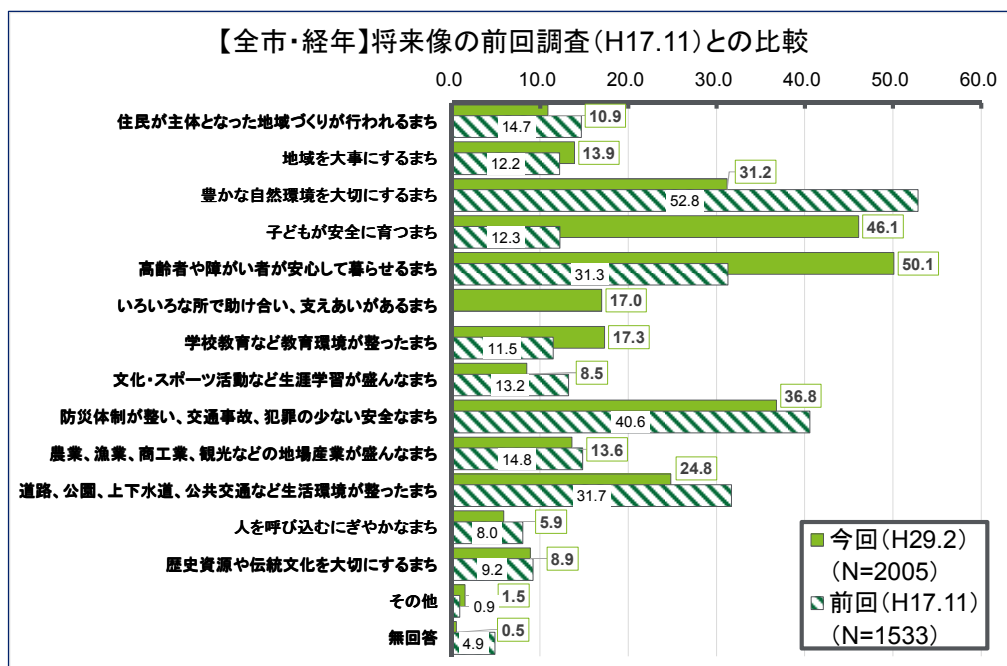
今後のまちづくりにおいて大事にすべきこと



- 今後のまちづくりにおいて大事にすべきことを聞いたところ、平成17年と比較すると、前回調査の項目はほとんど増加しており、減少している項目もあるが、減少幅は小さい。特に、「子育て支援(保育、医療など)」、「学校教育」、「地域福祉(高齢者、障がい者など)」、「防犯・防災」で大きく増加している。
- 全体でみると、「介護、医療」「地域福祉(高齢者、障がい者など)」「交通体系(道路・バス)」「子育て支援(保育、医療など)」「防犯・防災」「自然環境」で4割を超えている。

「豊かな自然環境を大切にするまち」が大きく減少し、「子どもが安全に育つまち」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が大きく増加しています。

福津市のまちづくりのめざすべき将来像

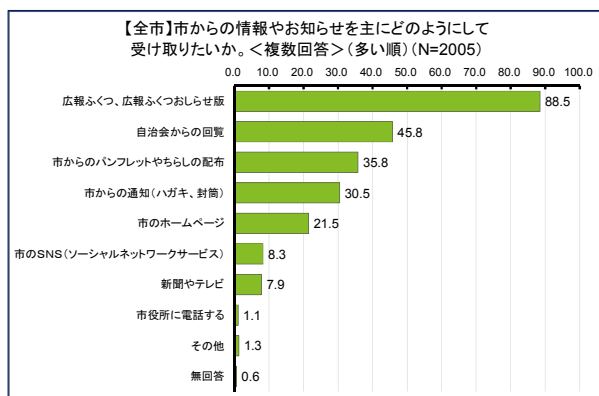


- めざすべき将来像について聞いたところ、(第1次)総合計画策定にあたり平成17年11月に実施した調査と比較すると、「豊かな自然環境を大切にするまち」が大きく減少し、「子どもが安全に育つまち」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」が大きく増加している。
- 全体でみると、「子どもが安全に育つまち」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち」で4割を超えている。

市からの情報を受け取る手段は「広報ふくつ」が最も多く、発信してもらいたい情報は、防災に関する情報と介護や福祉に関する情報が多くなっている。

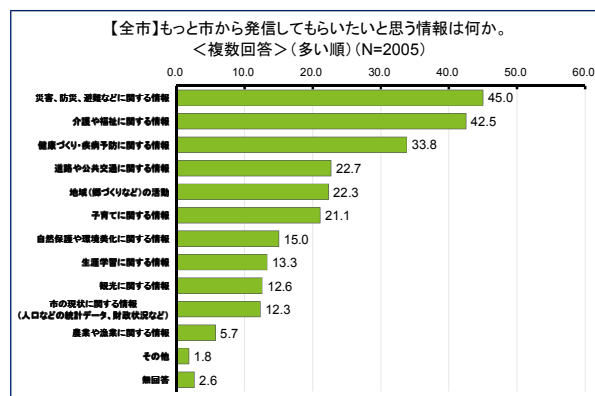
市からの情報を受け取る手段

- 市からの情報を受け取る手段について聞いたところ、「広報ふくつ、広報ふくつおしらせ版」が最も多く、88.5%となっている。
- 地域別にみると、神興東地域で「自治会からの回覧」がやや多くなっている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「市のホームページ」や「市のSNS」は少なく、反対に、「市からの通知」や「自治会からの回覧」は多くなっている。



市から発信してもらいたい情報

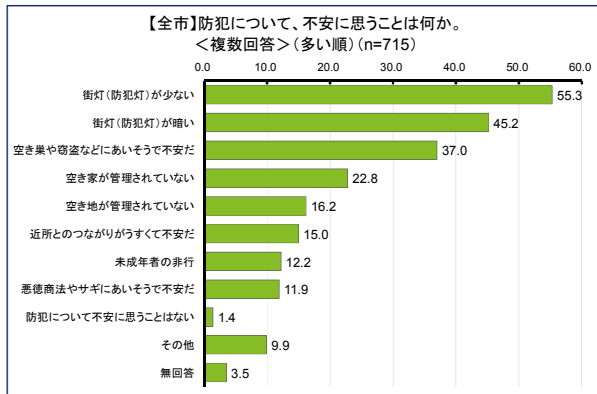
- 市から発信してもらいたい情報について聞いたところ、「災害、防災、避難などに関する情報」「介護や福祉に関する情報」が多く4割を超えている。
- 地域別にみると、「子育てに関する情報」は福間南、宮司地域で多く、勝浦地域で少ない。「農業や漁業に関する情報」は津屋崎、勝浦、上西郷地域で多い。



防犯では、「街灯(防犯灯)が少ない」、「暗い」ことについて、防災では、「防災無線が聞こえない」ことについて不安に思う声が多くなっています。

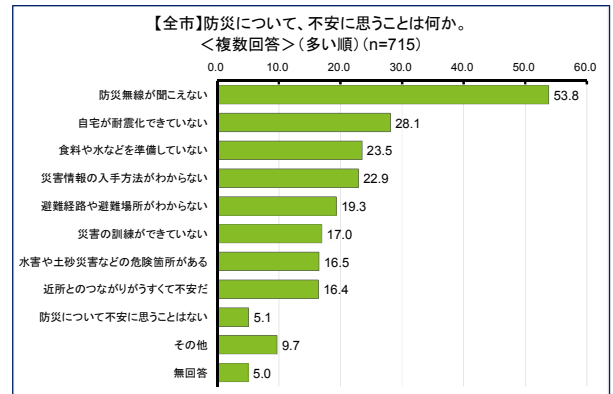
防犯について、不安に思うこと

- 防犯の面で不安に思うことについて、「街灯(防犯灯)が少ない」「街灯(防犯灯)が暗い」という回答が多い。
- 地域別にみると、「街灯(防犯灯)が暗い」という回答は、神興東、福間南地域で多く、「空き巣や窃盗にあいそうで不安だ」という回答は、神興地域で特に多い。「空き家が管理されていない」という回答は、勝浦、宮司地域で多く、「未成年者の非行」は、神興地域で特に多い。「近所とのつながりがうすくて不安だ」という回答は、神興東地域で多くなっている。



防災について、不安に思うこと

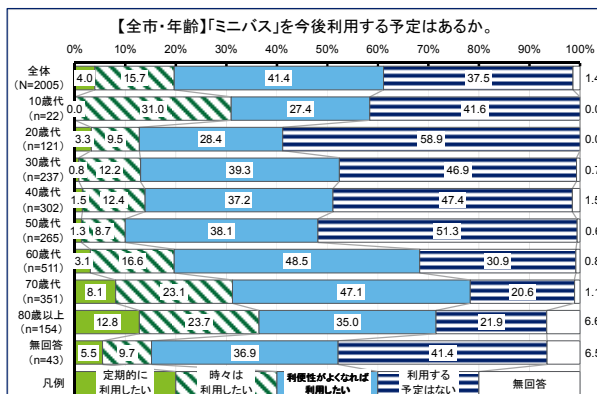
- 防災の面で不安に思うことについて、「防災無線が聞こえない」という回答が最も多く、5割を超えている。
- 地域別にみると、「防災無線が聞こえない」という回答は、福間南地域で多く、「避難経路や避難場所がわからない」という回答は、福間地域で多い。「災害の訓練ができていない」という回答は、津屋崎地域で多く、「水害や土砂災害などの危険箇所がある」は、上西郷地域で特に多い。「近所とのつながりがうすくて不安だ」という回答は、神興東地域で多くなっている。



「ふくつミニバス」について、「利便性がよくなれば利用したい」という約4割の回答があり、運賃が少し高くなっても充実を望む声が多くなっています。

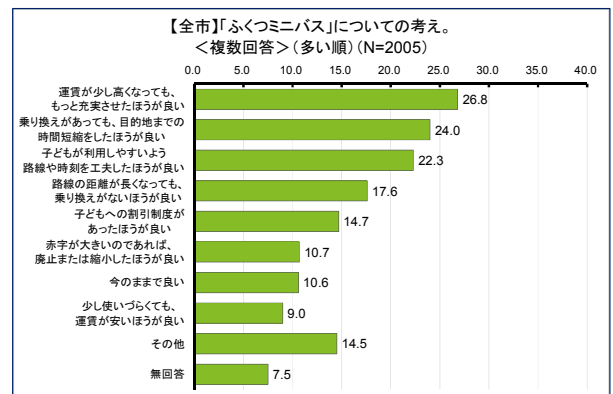
「ミニバス」を今後利用する予定

- 「利便性がよくなれば利用したい」という回答は41.4%あり、「利用する予定はない」(37.5%)を上回っている
- 年齢別にみると、10歳代では「時々利用したい」という回答が多く、20歳代から50歳代にかけては「利用する予定はない」という回答が多い。60歳代以降では、年齢が高くなるにつれて利用予定割合が多くなっている。



「ミニバス」についての考え

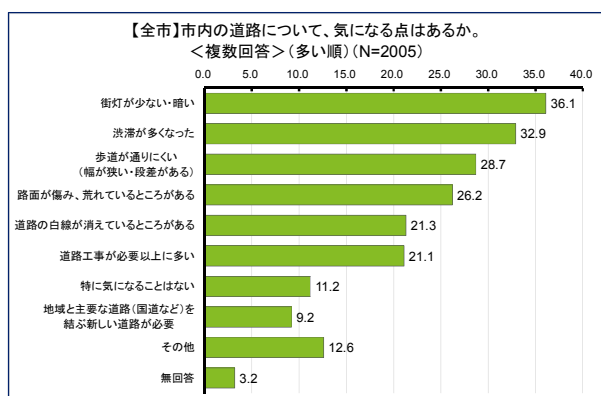
- 運賃に関し、「運賃が少し高くなっても、もっと充実させたほうが良い」という回答が26.8%あり、「少し使いづらくても、運賃が安いほうが良い」を上回っている。
- 乗り換えに関し、「乗り換えがあっても、目的地までの時間短縮をしたほうが良い」(24.0%)が「路線の距離が長くなっても、乗り換えがないほうが良い」を上回っている。



道路の気になる点では、「街灯が少ない・暗い」が多く、公園に対しては、「ボール遊びなどができる公園が近くにあった方がいい」という意見が多くなっています。

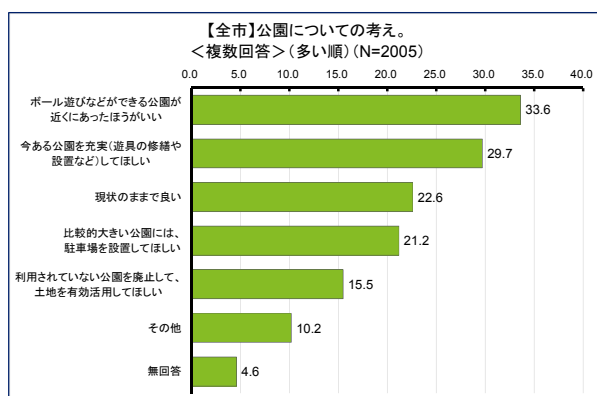
市内の道路について、気になる点

- 市内の道路の気になる点について、「街灯が少ない・暗い」(36.1%)、「渋滞が多くなった」(32.9%)という回答が多い。
- 地域別にみると、「歩道が通りにくい(幅が狭い・段差がある)」という回答は、福間地域で多く、「道路の白線が消えているところがある」「路面が傷み、荒れているところがある」という回答は、神興東、勝浦、神興、津屋崎地域で多い。



公園についての考え

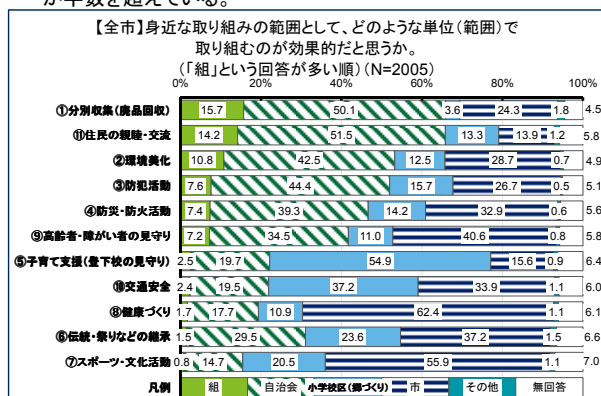
- 公園に対する考えについて、「ボール遊びなどができる公園が近くにあった方がいい」(33.6%)、「今ある公園を充実(遊具の修繕や設置など)してほしい」(29.7%)という回答が多い。
- 地域別にみると、「ボール遊びなどができる公園が近くにあった方がいい」という回答は、津屋崎、宮司地域で多く、「今ある公園を充実(遊具の修繕や設置など)してほしい」という回答は、神興東地域で多い。



身近な取り組みについて効果的な範囲は、活動ごとに大きく異なっています。地域活動への参加状況は、積極的又は時々参加している回答が5割を超えています。

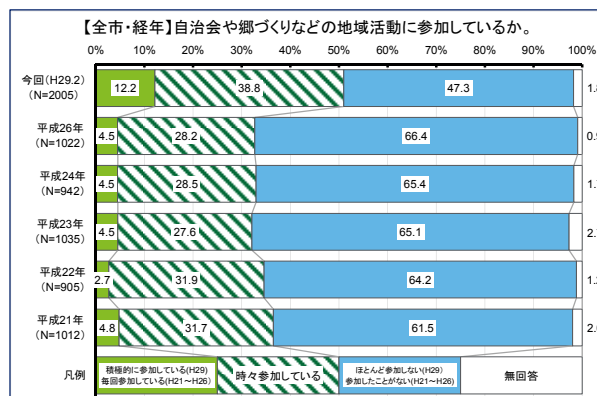
身近な取り組みの効果的な範囲

- 「分別収集」「住民の親睦・交流」「環境美化」「防犯活動」については、「組」又は「自治会」とした回答が多い。
- 「防災・防火活動」「高齢者・障がい者の見守り」「伝統・祭りなどの継承」については、「自治会」と「市」が拮抗している。
- 「子育て支援」「交通安全」については、「小学校区(郷づくり)」とした回答が多い。
- 「健康づくり」「スポーツ・文化活動」については、「市」という回答が半数を超えている。



地域活動への参加状況

- 地域活動への参加状況についてみると、「積極的に参加している」「時々参加している」と回答した割合が5割を超えている。
- 選択肢が異なるため、単純な比較はできないが、平成26年調査と比較すると、「積極的に参加している(前回は毎回参加している)」「時々参加している」を合わせた割合は大きく増加している。



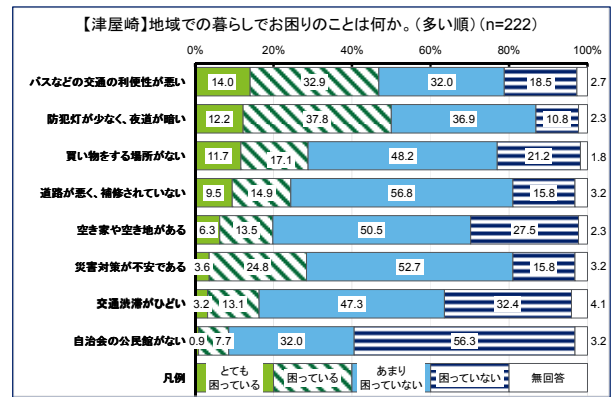
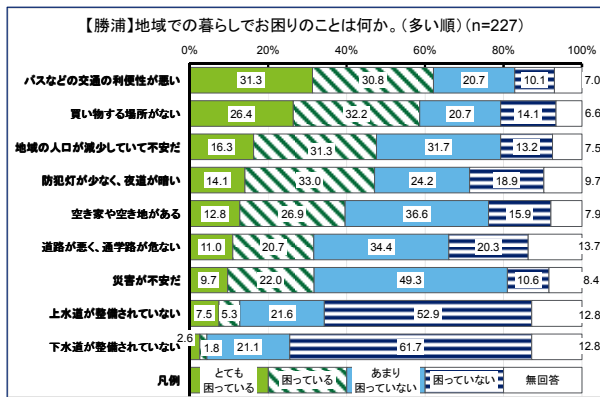
地域での暮らしで困っていることについて、勝浦、津屋崎地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」と回答している割合が多くなっています。

地域での暮らしで困っていること【勝浦】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、勝浦地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」「買い物する場所がない」で困っている割合が高く、「上水道が整備されていない」「下水道が整備されていない」で低くなっている。

地域での暮らしで困っていること【津屋崎】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、津屋崎地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」「防犯灯が少なく、夜道が暗い」で困っている割合が高く、「自治会の公民館がない」「交通渋滞がひどい」で低くなっている。



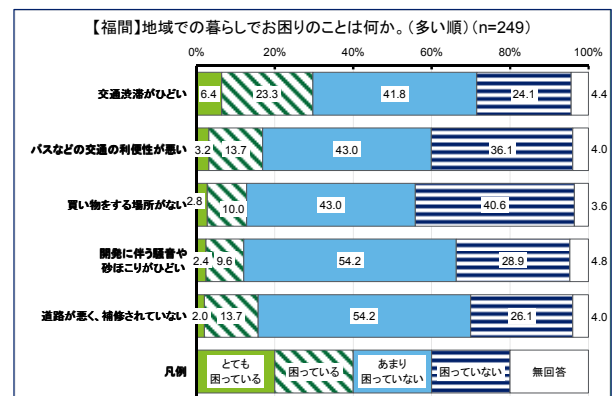
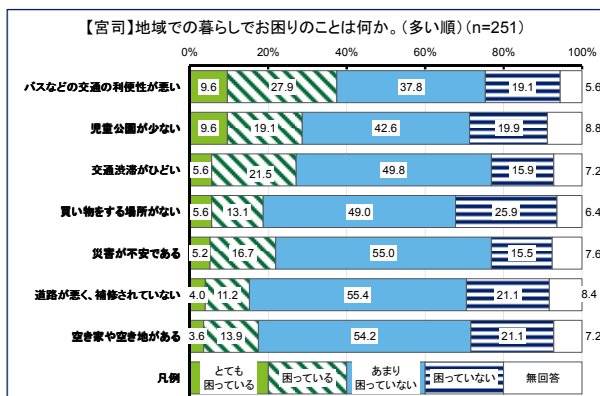
宮司地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」との回答が多く、福間地域では「交通渋滞がひどい」との回答が多くなっています。

地域での暮らしで困っていること【宮司】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、宮司地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」「児童公園が少ない」「交通渋滞がひどい」で困っている割合が高く、「空き家や空き地がある」「道路が悪く、補修されていない」で低くなっている。

地域での暮らしで困っていること【福間】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、福間地域では、「交通渋滞がひどい」で困っている割合が高く、「買い物をする場所がない」「開発に伴う騒音や砂ほこりがひどい」「道路が悪く、補修されていない」で低くなっている。



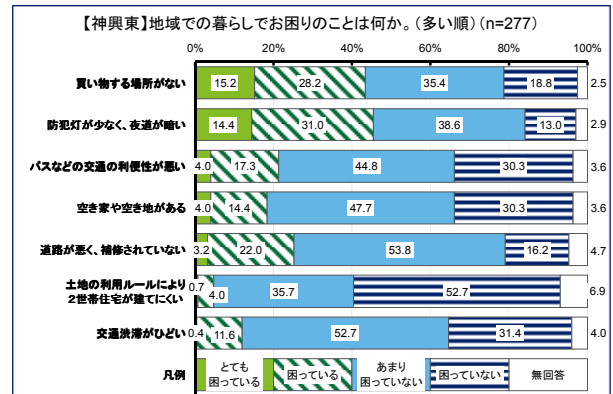
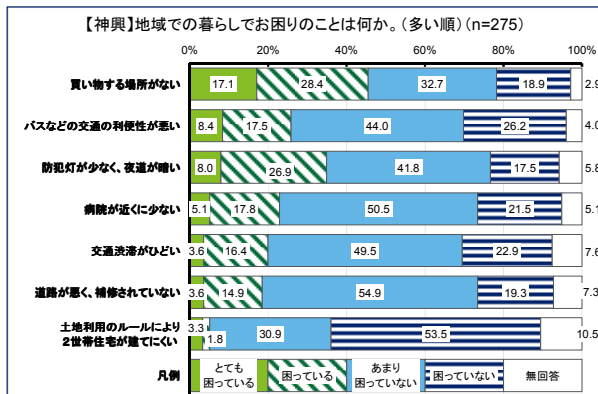
神興、神興東地域とも「買い物する場所がない」との回答が多く、神興東地域では「防犯灯が少なく、夜道が暗い」との回答も多くなっています。

地域での暮らしで困っていること【神興】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、神興地域では、「買い物する場所がない」で困っている割合が特に高く、「土地利用のルールにより2世帯住宅が建てにくい」で特に低くなっている。

地域での暮らしで困っていること【神興東】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、神興東地域では、「買い物する場所がない」「防犯灯が少なく、夜道が暗い」で困っている割合が高く、「交通渋滞がひどい」「土地利用のルールにより、2世帯住宅が建てにくい」で低くなっている。



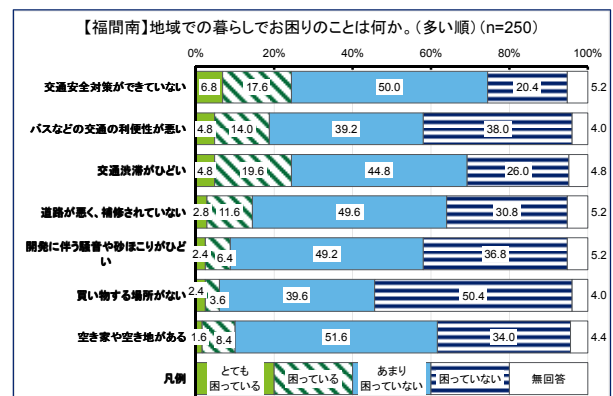
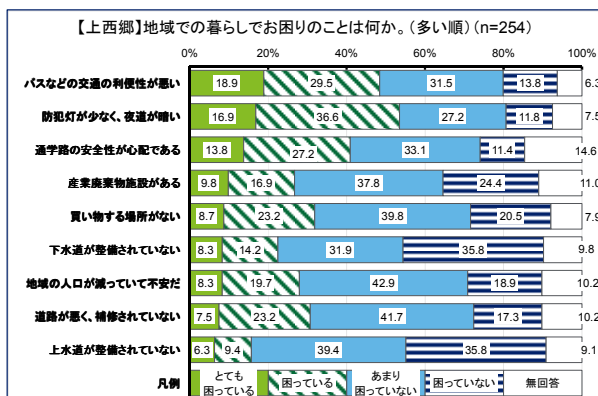
上西郷地域では「バスなどの交通の利便性が悪い」との回答が多く、福間南地域では、「交通安全対策」や「交通渋滞」に対する回答も多くなっています。

地域での暮らしで困っていること【上西郷】

■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、上西郷地域では、「バスなどの交通の利便性が悪い」「防犯灯が少なく、夜道が暗い」「通学路の安全性が心配である」で困っている割合が高く、「上水道が整備されていない」で低くなっている。

地域での暮らしで困っていること【福間南】

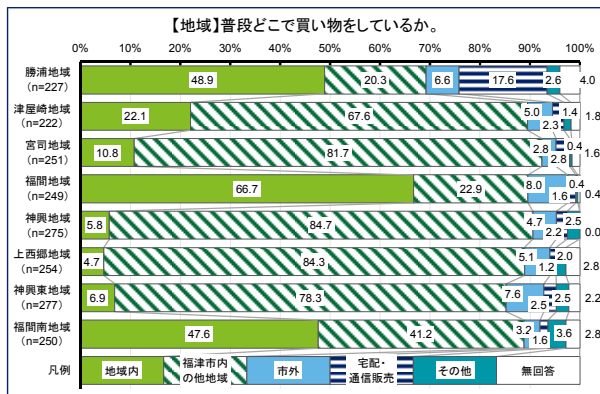
■ 地域での暮らしで困っていることについてみると、福間南地域では、「交通安全対策ができていない」「バスなどの交通の利便性が悪い」「交通渋滞がひどい」で困っている割合が高く、「空き家や空き地がある」「買い物する場所がない」「開発に伴う騒音や砂ほり音がひどい」で低くなっている。



普段の買い物について、福間、勝浦、福間南地域では、「地域内」が多く、それ以外では、「福津市内の他地域」が多く、交通手段は自家用車が多くなっています。

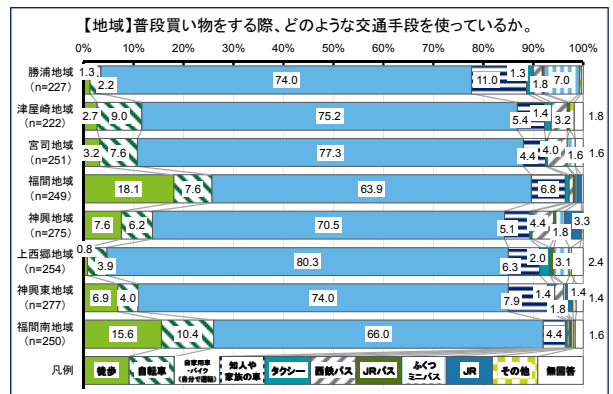
普段買い物をしている場所

- 普段買い物している場所についてみると、福間、勝浦、福間南地域では、「地域内」との回答が多く、それ以外の地域では、「福津市内の他地域」という回答が多い。



普段買い物をする際の交通手段

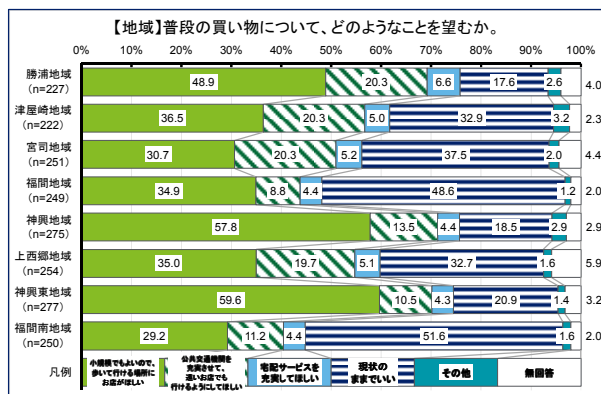
- 普段買い物する際の交通手段についてみると、全地域で「自家用車・バイク(自分で運転)」が最も多い。福間、福間南地域では、「徒歩」が比較的多くなっている。



普段の買い物について、福間、福間南を除き、徒歩で行けるお店がほしいという意見が多くなっています。空き家(地)対策には仲介制度や委託制度が多くなっています。

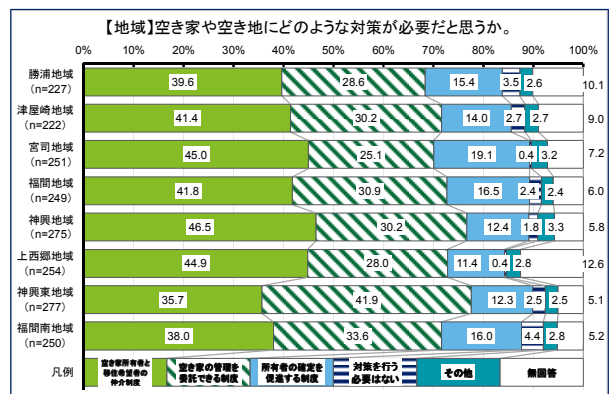
普段の買い物に対する要望

- 普段の買い物に対する要望についてみると、神興東、神興、勝浦地域で、「小規模でもよいので、歩いて行ける場所にお店がほしい」との回答が多く、福間、福間南地域では、「現状のままでいい」という回答が多い。



空き家や空き地対策に必要なこと

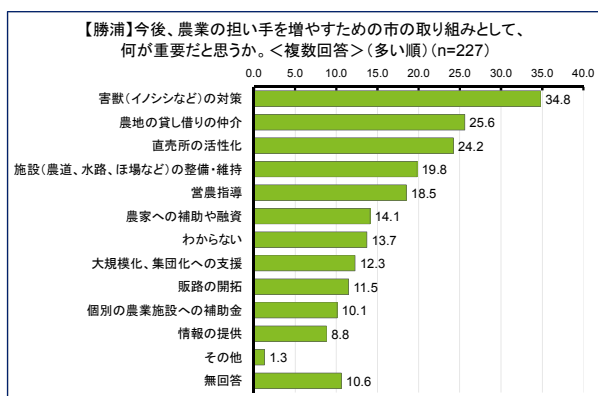
- 空き家や空き地が増えていることに対する対策について聞いたところ、どの地域でも「空き家所有者と移住希望者の仲介制度」「空き地の管理を委託できる制度」が多く、この2つで70%程度を占めている。
- 「対策を行う必要はない」と回答した割合は、各地域とも5%未満となっている。



農業の担い手を増やすための市の取り組みとして重要なものを聞いたところ、勝浦、上西郷地域とも「害獣(イノシシなど)の対策」が最も多く30%を超えています。

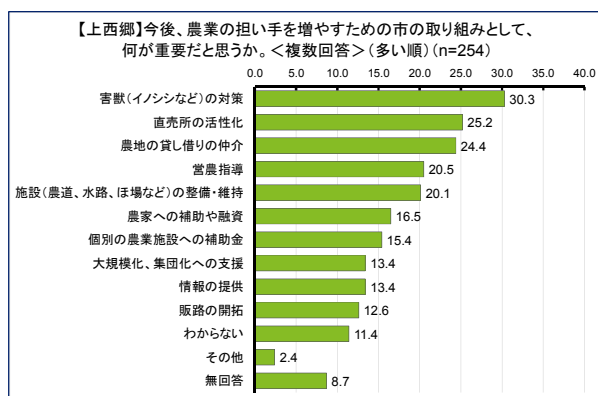
農業の担い手増加のための市の取り組み【勝浦】

- 農業の担い手を増やすための市の取り組みとして重要なものを聞いたところ、勝浦地域では、「害獣(イノシシなど)の対策」が最も多く30%を超えている。次いで、「農地貸し借りの仲介」「直売所の活性化」が多くなっている。



農業の担い手増加のための市の取り組み【上西郷】

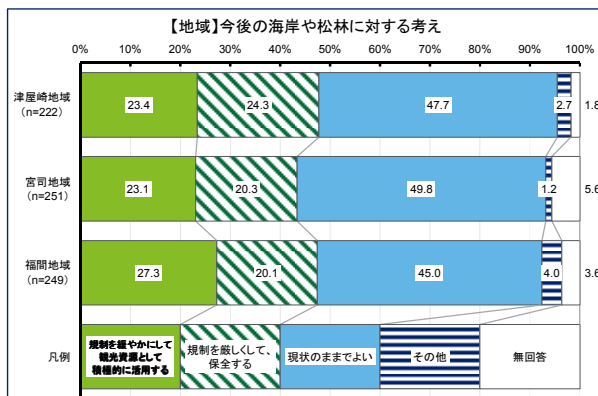
- 農業の担い手を増やすための市の取り組みとして重要なものを聞いたところ、上西郷地域では、「害獣(イノシシなど)の対策」が最も多く30%を超えている。次いで、「直売所の活性化」「農地貸し借りの仲介」が多くなっている。



海岸や松林について、「現状のままでよい」が多く、規制については意見が拮抗しています。地域のまとまりについては肯定的回答が5割から6割程度となっています。

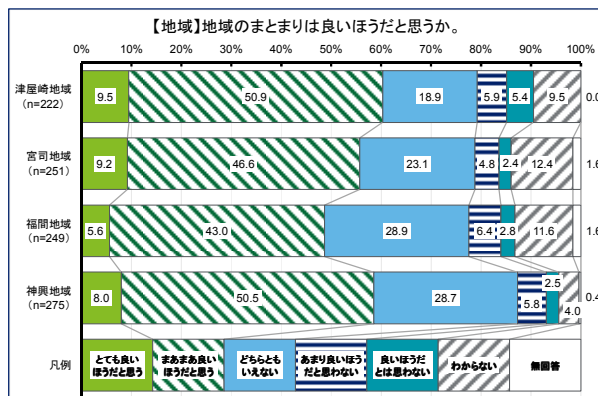
今後の海岸や松林に対する考え【津屋崎、宮司、福間】

- 今後の海岸や松林に対する考えを聞いたところ、どの地域でも「現状のままでよい」が最も多く、「規制を緩やかにして観光資源として積極的に活用する」と「規制を厳しくして、保全する」が拮抗している。



地域のまとまりに対する評価【津屋崎、宮司、福間、神興】

- 地域のまとまりに関する評価についてみると、「とても良いほうだと思う」と「まあまあ良いほうだと思う」を合わせた肯定的回答は、津屋崎地域60.4%、宮司地域55.8%、福間地域48.6%、神興地域58.5%となっている。



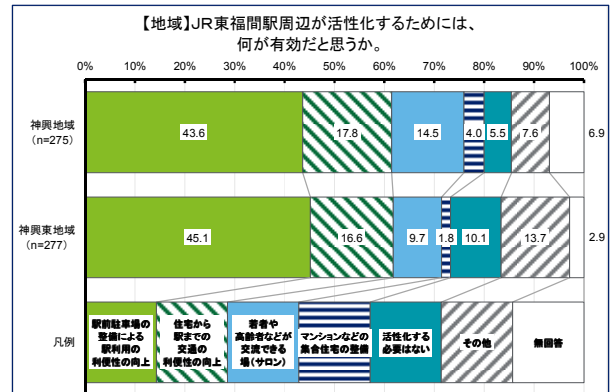
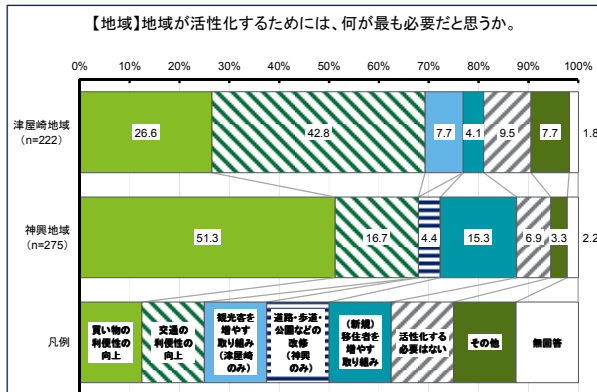
地域活性化について、津屋崎では「交通の利便性の向上」が、神興では「買い物の利便性向上」が多く、東福間駅の活性化は、「駅の利便性の向上」が多くなっています。

地域が活性化するために必要なこと【津屋崎、神興】

- 地域活性化のために必要なことについて聞いたところ、津屋崎地域では、「交通の利便性の向上」が最も多く、特に30歳代以下と50歳代で多い。神興地域では「買い物の利便性の向上」が最も多く、特に20歳代と70歳代以上で多い。

東福間駅周辺活性化のために有効なこと【神興、神興東】

- JR東福間駅周辺が活性化するために有効なことについて聞いたところ、神興、神興東地域とも「駅前駐車場の整備による駅利用の利便性の向上」がもっとも多く40%を超えている。



中学生アンケート調査結果の分析(概要)

1. まちづくりについて

- 全体の89.6%が現在住んでいる地域を住みやすいと回答しています。
- 全体の86.3%がこれからも福津市に住み続けたいと回答しています。
- 全体の79.9%が福津市を愛する気持ちや住むことへの誇りを持っていると回答しています。
- 将来を支える人になりたいかについては、肯定と否定が拮抗しています。
- 全体の61.2%が、今後、国際交流や国際理解を深めていきたいと回答しています。

2. 学習環境、学校生活について

- 学校の学習環境について、72.8%が快適と回答しており、より快適にするために必要なこととしては、「教室へのエアコンの設置」が最も多くなっています。
- 平日の放課後の過ごし方については、「部活動」という回答が最も多く、休日では、「部活動」と「自宅や友人宅」が最も多くなっています。
- 地域行事やスポーツ活動について、73.9%が充実している回答しています。

3. 運動・スポーツについて

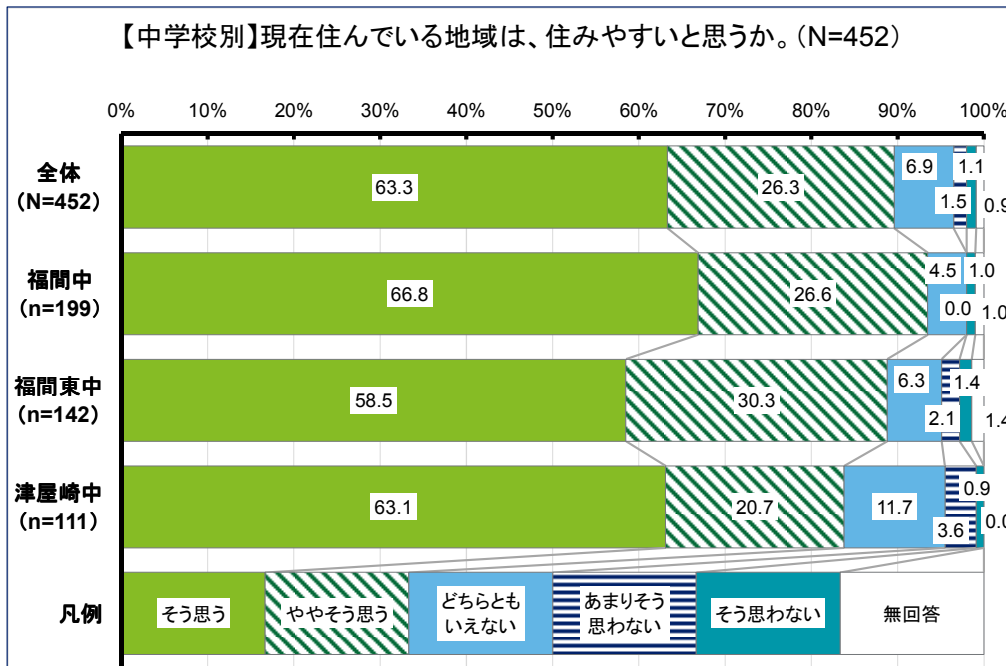
- 運動やスポーツの実施頻度では、「ほぼ毎日」が最も多く68.6%となっています。
- 運動やスポーツを行う理由は「体力づくりのため」「試合に勝つため」が多く、あまり行わない理由は「運動やスポーツが好きではない」が最も多くなっています。
- 運動やスポーツをする時よく利用する施設は、「近所の公園」が最も多くなっています。運動公園の利用については、地域により差がみられます。
- スポーツ施設全般で大切(必要)だと思うことについて、「一緒にする仲間が集まること」が最も多く、次いで「いい指導者・スタッフがいること」が多くなっています。

4. コミュニティ・スクールについて

- 「コミュニティ・スクール」について、自分の成長に役立ったとの回答は84.3%となっており、新たな「きずな」が生まれたと思うという回答は77.0%となっています。
- 地域や社会のためになることをしたいという気持ちがあるという回答は、79.9%となっています。

全体の89.6%が現在住んでいる地域を住みやすいと回答しています。

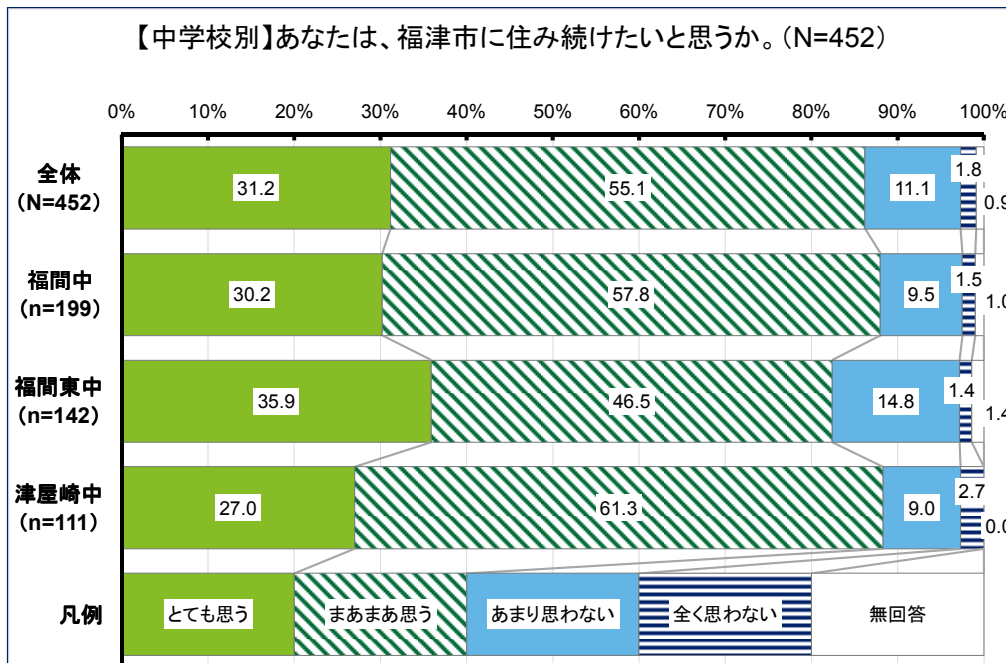
居住地域の住みやすさ



- 現在住んでいる地域が快適な住環境であるかについてみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた肯定的回答は89.6%であり、大部分が快適と評価している。
- なお、同時期に実施した18歳以上市民を対象にした意識調査結果では、75.1%であり、比較しても肯定的回答の割合が高い。
- 住所別に見ると、上西郷、勝浦小学校区において、「そう思う」という回答が少なく、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が比較的多くなっている。

全体の86.3%がこれからも福津市に住み続けたいと回答しています。

福津市への定住意向

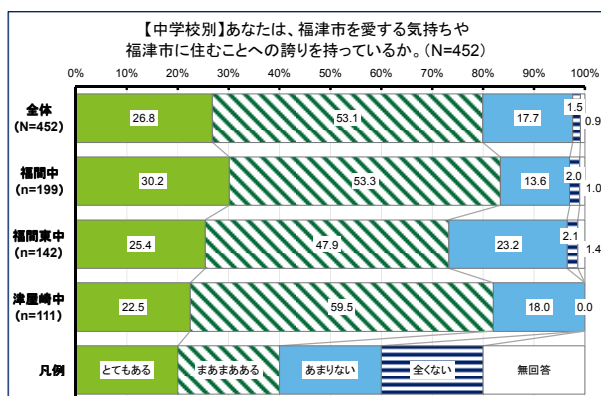


- これからも福津市に住み続けたいと思うかについてみると、「とても思う」と「まあまあ思う」という回答を合わせると、86.3%となっている。
- 同時期に実施した18歳以上の市民を対象にした意識調査結果では77.9%であり、比較しても肯定的回答の割合が高い。
- 住所別に見ると、上西郷、福間南、神興小学校区で「とても思う」の回答が多く、福間、勝浦小学校区で少ない。

全体の79.9%が福津市を愛する気持ちや住むことへの誇りを持っていると回答しています。将来を支える人になりたいかについては、肯定と否定が拮抗しています。

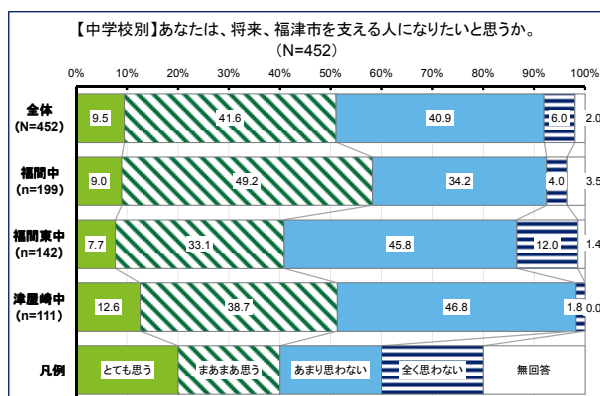
郷土愛や誇り

- 福津市を愛する気持ちや福津市に住むことへの誇りをもっているか聞いたところ、「とてもある」と「まあまあある」を合わせた肯定的回答は79.9%と8割近い。
- 学校別にみると、福間東中で「あまりない」の回答が比較的多い。
- 住所地別にみると、福間南、上西郷、神興小学校区で「とてもある」の割合が多い。一方、上西郷小学校区では、回答数が少なく参考数値ではあるが、「あまりない」「全くない」という回答も多くなっている。



将来を支える人材への意向

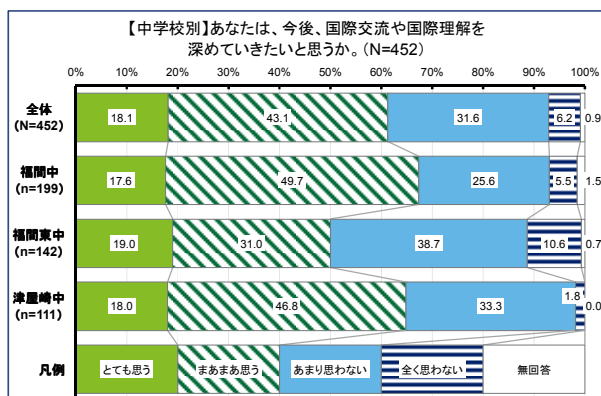
- 将来、福津市を支える人になりたいと思うか聞いたところ、「とても思う」と「まあまあ思う」を合わせた回答は51.1%であり、「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた46.9%と差は少ない。
- 中学校別にみると、「とても思う」「まあまあ思う」という回答は、福間中で多く、福間東中で少ない。
- 住所地別にみると、回答数が少なく参考数値ではあるが、勝浦小学校区で「とても思う」「まあまあ思う」という回答が多く、神興、神興東、津屋崎小学校区で少ない。



全体の61.2%が、今後、国際交流や国際理解を深めていきたいと回答しています。

国際交流や国際理解に対する意向

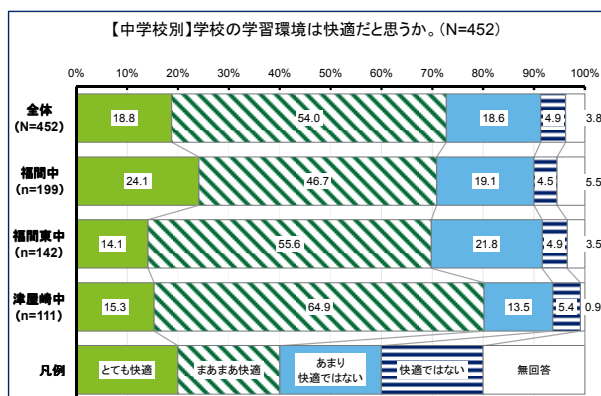
- 今後、国際交流や国際理解を深めていきたいと思うか聞いたところ、「とても思う」と「まあまあ思う」を合わせた回答は61.2%となっている。
- 中学校別にみると、福間東中で、「まあまあ思う」という回答が少ない。
- 住所地別にみると、回答数が少なく参考数値ではあるが、勝浦小学校区で「まあまあ思う」という回答が多く、神興、上西郷小学校区で「全く思わない」という回答が比較的多い。



学校の学習環境について、72.8%が快適と回答しており、より快適にするために必要なこととしては、「教室へのエアコンの設置」が最も多くなっています。

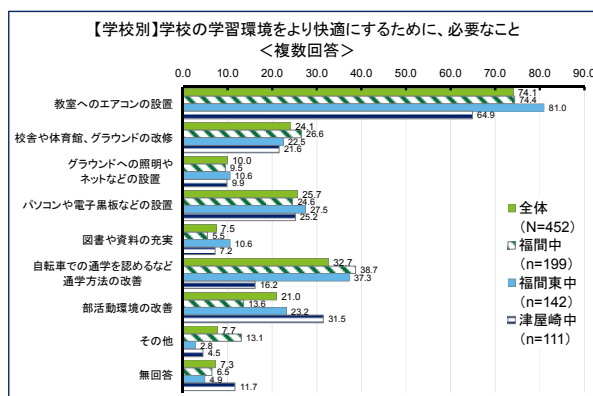
学校の学習環境に対する評価

- 学校の学習環境は快適だと思うか聞いたところ、「とても快適」と「まあまあ快適」を合わせた回答は72.8%となっている。
- 中学校別に見ると、福間中で「とても快適」という回答が多く、津屋崎中で「まあまあ快適」という回答が多い。
- 住所地別に見ると、神興小学校区で「あまり快適ではない」という回答が比較的多く、福間、上西郷小学校区で「とても快適」という回答が比較的多い。



学習環境をより快適にするために必要なこと

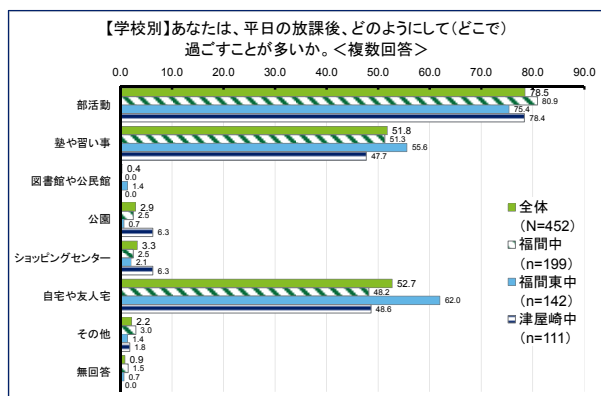
- 学校の学習環境をより快適にするために必要なことについて聞いたところ、「教室へのエアコンの設置」が最も多く74.1%となっている。
- 中学校別に見ると、「教室へのエアコンの設置」は、福間東中で多く、津屋崎中で少ない。「自転車での通学を認めるなど通学方法の改善」は、津屋崎中で少ない。「部活動環境の改善」は、福間中で少なく、津屋崎中で多い。



平日の放課後の過ごし方については、「部活動」という回答が最も多く、休日では、「部活動」と「自宅や友人宅」が最も多くなっています。

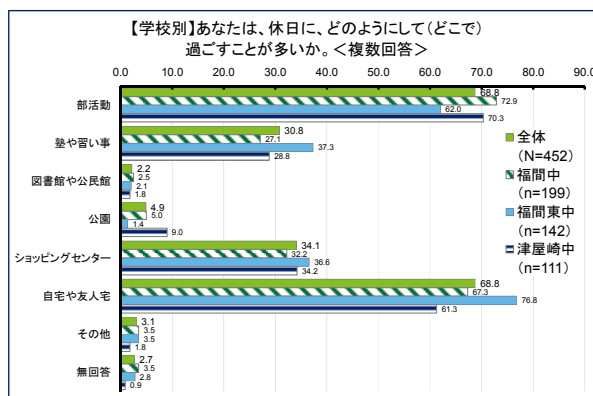
平日の放課後の過ごし方

- 平日の放課後の過ごし方について聞いたところ、「部活動」が最も多く78.5%、次いで「自宅や友人宅」(52.7%)、「塾や習い事」(51.8%)と半数を超えているが、他の項目は少ない。
- 中学校別に見ると、福間東中で「自宅や友人宅」という回答が少し多い。



休日の過ごし方

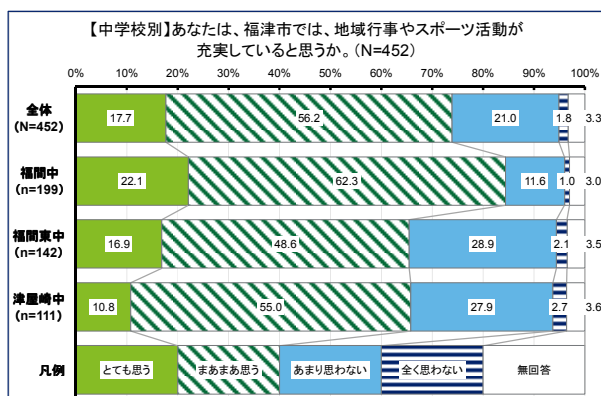
- 休日の過ごし方について聞いたところ、「部活動」と「自宅や友人宅」が最も多く68.8%、次いで「ショッピングセンター」(34.1%)、「塾や習い事」(30.8%)が多い。
- 中学校別に見ると、福間東中で「部活動」という回答が少し少なく、「自宅や友人宅」「塾や習い事」という回答が少し多い。
- 性別では、「ショッピングセンター」という回答で女子が多い。



地域行事やスポーツ活動について、73.9%が充実している回答しています。運動やスポーツの実施頻度では、「ほぼ毎日」が最も多く68.6%となっています。

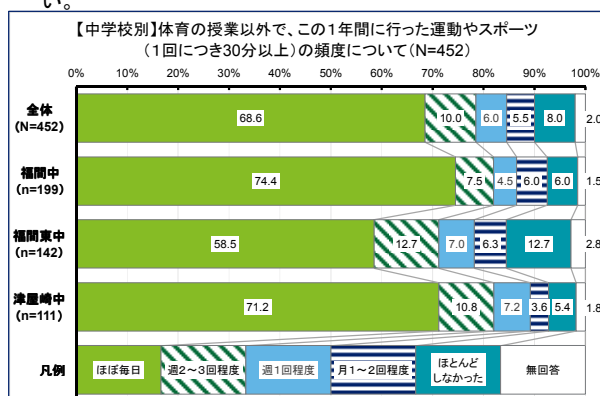
地域行事やスポーツ活動に対する評価

- 福津市では、地域行事やスポーツ活動が充実していると思うが聞いたところ、「とても思う」「まあまあ思う」を合わせた回答は73.9%となっている。
- 中学校別に見ると、福間中で、「とても思う」「まあまあ思う」という回答が多い。
- 住所別に見ると、神興、津屋崎、神興東小学校区で「あまり思わない」という回答が多い。



運動やスポーツの実施状況

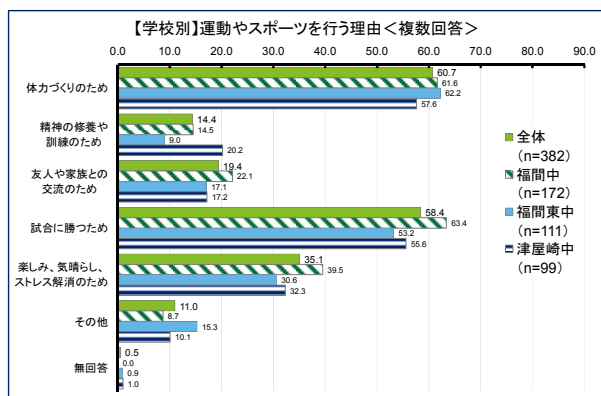
- 体育の授業以外でこの1年間で行った運動やスポーツ(1回につき30分以上)の頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」が最も多く68.6%となっている。
- 学校別に見ると、福間東中で、「ほぼ毎日」という回答が少ない。
- 住所別に見ると、神興小学校区で「ほぼ毎日」という回答が少ない。
- 性別に見ると、男子の方が「ほぼ毎日」と回答している割合が多い。



運動やスポーツを行う理由は「体力づくりのため」「試合に勝つため」が多く、あまり行わない理由は「運動やスポーツが好きではない」が最も多くなっています。

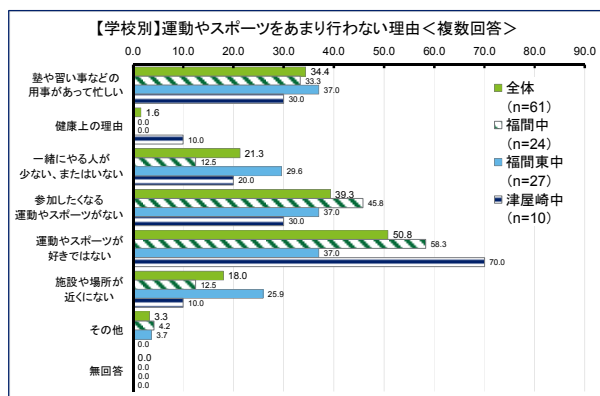
運動やスポーツを行う理由

- 体育の授業以外でこの1年間で行った運動やスポーツ(1回につき30分以上)の頻度について「ほぼ毎日」「週2~3回程度」「週1回程度」と回答した方に運動やスポーツを行う理由を聞いたところ、「体力づくりのため」「試合に勝つため」が多く6割程度となっている。
- 中学校別に見ると、「試合に勝つため」「楽しみ、気晴らし、ストレス解消のため」は福間中で多く、「精神の修養や訓練のため」は津屋崎中で多い。



運動やスポーツをあまり行わない理由

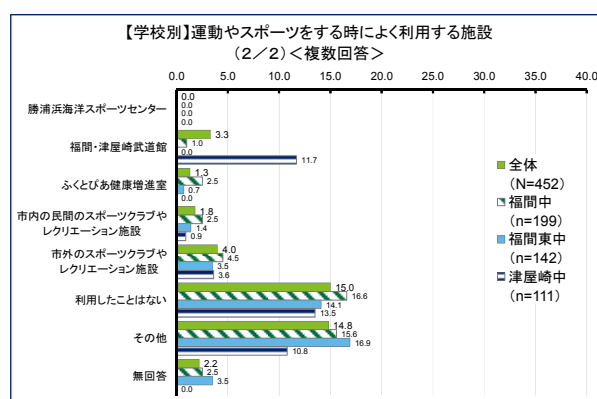
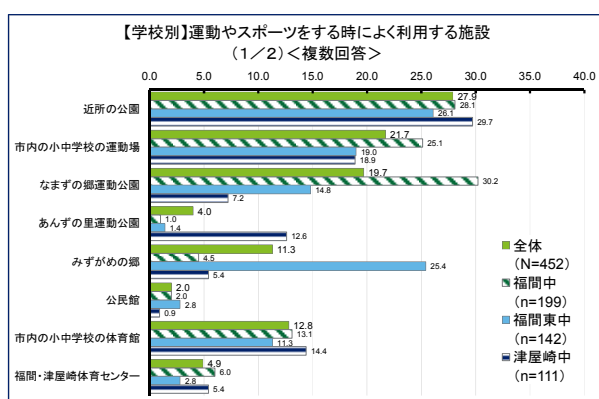
- 体育の授業以外でこの1年間で行った運動やスポーツの頻度について「月1~2回程度」「ほとんどしなかった」と回答した方に運動やスポーツをあまり行わない理由を聞いたところ、「運動やスポーツが好きではない」が最も多く5割程度となっている。次いで、「参加したくなる運動やスポーツがない」(39.3%)「塾や習い事などの用事があって忙しい」(34.4%)が多い。
- 中学校別に見ると、「運動やスポーツが好きではない」は津屋崎中で多く、福間東中で少ない。「参加したくなる運動やスポーツがない」は福間中で多く、津屋崎中で少ない。



運動やスポーツをする時よく利用する施設は、「近所の公園」が最も多くなっています。運動公園の利用については、地域により差がみられます。

運動やスポーツをする時によく利用する施設

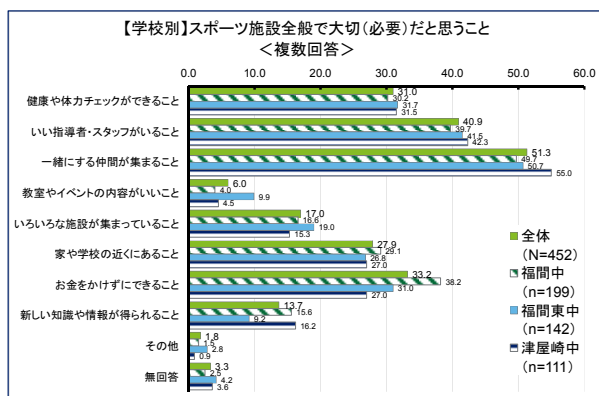
- 運動やスポーツをする時によく利用する施設について聞いたところ、「近所の公園」が最も多く27.9%、次いで「市内の小中学校の運動場」(21.7%)「なまずの郷運動公園」(19.7%)が多い。「利用したことはない」という回答も15.0%ある。
- 中学校別に見ると、「なまずの郷運動公園」は福間中で多く、津屋崎中で少ない。「あんずの郷運動公園」「福間・津屋崎武道館」は津屋崎中で多い。「みずがめの郷」は福間東中で多い。
- 性別に見ると、「福間・津屋崎武道館」で男子が多いほか大きな差はみられない。



スポーツ施設全般で大切(必要)だと思うことについて、「一緒にする仲間が集まること」が最も多く、次いで「いい指導者・スタッフがいること」が多くなっています。

スポーツ施設全般で大切(必要)だと思うこと

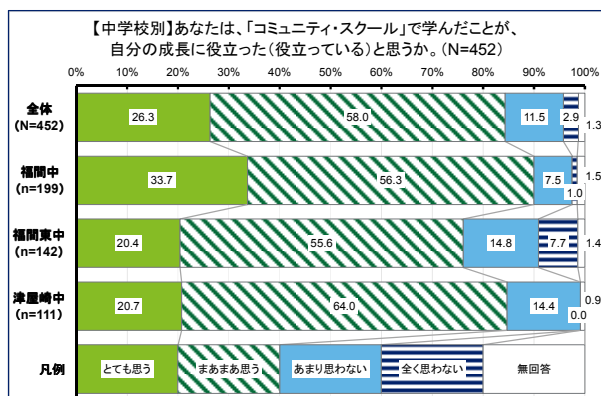
- スポーツ施設全般で大切(必要)だと思うことについて聞いたところ、「一緒にする仲間が集まること」が最も多く51.3%、次いで「いい指導者・スタッフがいること」(40.9%)が多い。
- 中学校別に見ると、「お金をかけずにできること」は福間中で多く、津屋崎中で少ない。
- 性別に見ると、「一緒にする仲間が集まること」「健康や体力チェックができること」で女子が少し多いほか大きな差はみられない。



「コミュニティ・スクール」について、自分の成長に役立ったとの回答は84.3%となっており、新たな「きずな」が生まれたと思うという回答は77.0%となっています。

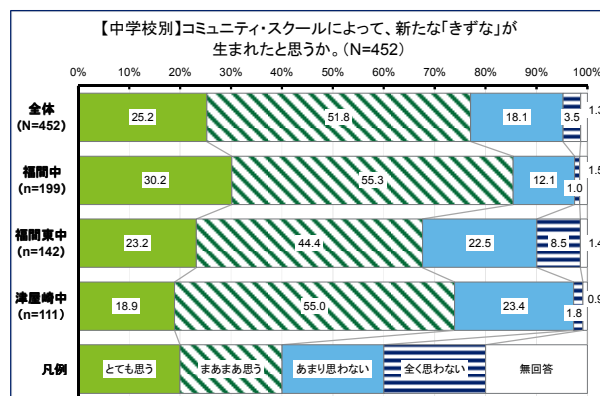
「コミュニティ・スクール」に対する評価

- 「コミュニティ・スクール」で学んだことが、自分の成長に役立った（役立っている）と思うか聞いたところ、「とても思う」と「まあまあ思う」という回答を合わせると84.3%となっている。
- 中学校別にみると、「とても思う」という回答は福間中で多く、「全く思わない」という回答は福間東中で多い。
- 住所地別にみると、「とても思う」という回答は、福間、福間南、上西郷小学校区で多い。



「コミュニティ・スクール」の効果

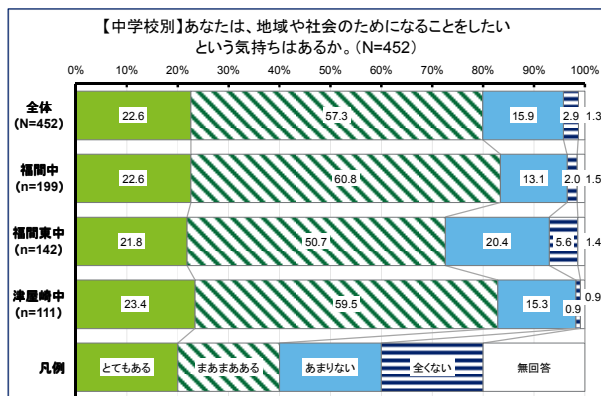
- コミュニティ・スクールによって、新たな「きずな」が生まれたと思うか聞いたところ、「とても思う」と「まあまあ思う」という回答を合わせると77.0%となっている。
- 中学校別にみると、「とても思う」という回答は福間中で多く、「全く思わない」という回答は福間東中で多い。
- 住所地別にみると、「とても思う」という回答は、福間南小学校区で多く、神興小学校区では、「とても思う」「まあまあ思う」「あまり思わない」という回答が拮抗している。



地域や社会のためになることをしたいという気持ちがあるという回答は、79.9%となっています。

地域や社会への貢献に対する意向

- 地域や社会のためになることをしたいという気持ちがあるか聞いたところ、「とてもある」と「まあまあある」という回答を合わせると79.9%となっている。
- 中学校別にみると、福間東中で「まあまあある」が少し少なく、「あまりない」が少し多い。
- 住所地別にみると、「とてもある」という回答は、回答数が少ないため参考数値ではあるが、上西郷小学校区で多くなっている。「全くない」という回答は、神興小学校区で多い。



エ キックオフフォーラムのアンケート結果

(ア) キックオフフォーラムの概要

次期総合計画の策定に取り組むことを広く市民に周知し、市民に関心を持ってもらうきっかけとして、キックオフフォーラムを開催した。キックオフフォーラムの概要と、参加者に依頼したアンケートの内容は図 14 及び図 15 のとおりである。

図 14 キックオフフォーラムの概要

日時	平成 28 年 7 月 3 日（日） 10:00～12:15
会場	福津市中央公民館ホール
参加者	144 人
プログラム	(1) 市長あいさつ (2) これまでの取り組みの振り返り (3) 基調講演 (関西学院大学大学院 経営戦略研究科 石原教授) (4) 次期総合計画策定までの今後の流れ (5) 意見聴取

図 15 参加者アンケートの設問内容

設問テーマ	設問詳細
1. 現総合計画について	これまで市が取り組んできた事業に対するご意見、ご感想など
2. 次期総合計画について	新しい総合計画に期待すること、盛り込むべき取り組みなど
3. その他自由意見	総合計画策定に対するご意見や本日のフォーラムに対するご意見、ご感想 など

(イ) 参加者アンケートの結果

キックオフフォーラムの参加者アンケートは、合計 102 人（回収率 71%）の回答があった。回答者のうち、44 人（43%）は、市職員である。

主な意見は次のとおりである。

- ① 現総合計画について
 - ・ 今日の説明によって、これまでの取り組みが理解できた。
 - ・ この 10 年間の間に大きな事業が行われ、市の基盤が整ってきたことを改めて感じた。
 - ・ 計画の実施結果に対する評価を行うべきであり、その結果を次の計画に活かしてほしい。
- ② 次期総合計画について
 - ・ 郷づくりや地域住民など、市民や団体と協働し、幅広い意見を取り入れてほしい。
 - ・ 観光資源の有効活用を計画の中に取り入れてほしい。
 - ・ 災害時に避難所として利用する施設の整備をしてほしい。
- ③ その他自由意見
 - ・ とても有意義なフォーラムであった。市民が中心となって、良いパートナー

- シップのもとに、今後もすてきなまちづくりが進めていけるよう努力したい。
- ・ 石原先生の講演が非常に勉強になった。また講演会や勉強会を実施してほしい。
 - ・ 参加者が少ないと感じた。広報の仕方を工夫してほしい。

(3) 市職員等の意見の把握

次期総合計画の策定に向けて、市職員による分野別のワーキング会議を開催し、現状の課題や施策の方向性等について検討した。分野別のワーキング会議では、各分野の民間の有識者を交えた、民間と行政の意見交換会も実施した。

また、全職員向けの職員アンケートを実施し、市職員の意見・意向を収集した。分野別ワーキングの検討結果及び職員アンケートの結果は、次のアからイのとおりである。

ア 分野別ワーキング会議（民間と行政の意見交換会を含む）の意見まとめ

(ア) 分野別ワーキング会議の概要

図 16 分野別ワーキング会議の開催概要

分野	参加部署	開催日程
郷づくり	<ul style="list-style-type: none"> 郷づくり支援課 郷づくり支援係 高齢者サービス課 高齢者福祉係 うみがめ課 資源リサイクル係 防災安全課 安心安全まちづくり係 こども課 子育て支援係 学校教育課 学務係 	第1回：平成28年8月26日
こども	<ul style="list-style-type: none"> こども課 子育て支援係 こども課 のびのび発達支援センター 郷育推進課 郷育係 いきいき健康課 保健指導係 保険年金医療課 医療係 	第1回：平成28年9月27日 第2回：平成28年12月26日 第3回：平成29年2月24日
教育・学び	<ul style="list-style-type: none"> 教育総務課 総務企画係 学校教育課 保健給食係 郷育推進課 スポーツ文化振興係 男女共同参画推進室 男女共同参画係 	第1回：平成28年10月3日 第2回：平成28年12月14日 第3回：平成29年2月27日
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> いきいき健康課 健康づくり係 いきいき健康課 保健指導係 高齢者サービス課 介護保険係 高齢者サービス課 高齢者福祉係 保険年金医療課 保険年金係 福祉課 障がい福祉係 福祉課 生活相談係 	第1回：平成28年10月14日 第2回：平成28年11月1日 第3回：平成28年11月16日 第4回：平成28年12月12日 第5回：平成29年2月28日
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 都市管理課 開発建築係 都市管理課 計画係 都市管理課 維持管理係 建設課 建設係 うみがめ課 清掃対策係 うみがめ課 資源リサイクル係 防災安全課 安心安全まちづくり係 下水道課 施設整備係 	第1回：平成28年8月31日 第2回：平成28年9月15日 第3回：平成29年2月10日
産業振興	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興課 観光推進係 地域振興課 商工・ブランド推進係 地域振興課 農林水産振興係 世界遺産登録推進室 世界遺産登録推進係 行政経営企画課 企画係 	第1回：平成28年9月29日 第2回：平成29年3月22日

分野別ワーキング会議は、主に「郷づくり」「こども」「教育・学び」「健康・福祉」「生活環境」「産業振興」の6つの分野で実施した。分野別ワーキング会議の開催概要は図 16 のとおりである。

上記6分野の他、「貧困問題」（平成28年12月20日）および「地域」（平成29年3月28日）に関する分野別ワーキング会議を実施した。

また、「民間と行政の意見交換会」の開催概要については、図 17 のとおりである。

図 17 民間と行政の意見交換会の開催概要

分野	参加団体（民間）	開催日程
こども	<ul style="list-style-type: none"> 市内保育園 市内幼稚園 神興小学童保育所 ふくまアンビシャス広場 児童センターFUCSTA 	平成29年2月6日
教育・学び	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校 教員、元PTA役員 市内中学校 教員、元PTA役員 郷育推進会議 福津市体育協会 	平成29年2月20日
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 福津市社会福祉協議会 福津市保健福祉審議会 ふくとびあ健康増進室 市内助産院 介護士養成学校 小規模多機能型居宅介護施設 福津市民生委員/児童委員協議会 	平成29年2月14日

(イ) 分野別ワーキング会議の意見まとめ

各分野別ワーキング会議の意見について、「現状及び課題」「施策の方向性（案）」「具体的な取組（事例）」に分類して整理した（図 18）。

図 18 分野別ワーキング会議（こども分野）の意見まとめ【一部抜粋】

		現状及び課題	施策の方向性(案)	具体的な取組(事例)
妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	WG	<ul style="list-style-type: none"> 出産前後で悩んでいる母親の増加 産後3か月程度の子育てに対する支援ニーズ 様々な組織や団体が活動しているが連携する体制がない 世代間で知識・経験が継承されていない 		
	民間と行政の意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> 保育園では、妊娠中の方にも来てもらっている 子どもの障がいや悩んでいる保護者は多い アレルギーの子どもが増加しており、医療行為に近い対応が必要となっている 発達の支援や保護者への心のケアも必要 子育て支援センターのニーズは高まっている 各施設(保育園、幼稚園、小学校等)間での情報の引継ぎが十分ではない 以前は、就学前の子どもの情報が保育園等から学童保育所に伝わっていなかったが、現在は、NPO法人を通じ学校とも情報共有している 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、民間、NPO等との役割の整理及び連携 親への教育・支援が必要 障がい児を受け入れ可能な施設が増えると保護者に安心してもらえるのではないかと 保育所や幼稚園への医療面での支援 発達やアレルギーなどに関する情報は連携できると良い 	<ul style="list-style-type: none"> 包括支援窓口(センター)の設置 保護者やコミュニティとのつながりを促すような機能(スクールソーシャルワーカーのような) 妊娠中の方に対するプレ入園の支援(各園の努力も可能) 医療機関、のびのび発達支援センターが持つ情報を、関係機関(保育園、幼稚園、学校、学童保育など)に共有する仕組みの構築

イ 職員アンケートの意見まとめ

(ア) 調査の流れ

次期総合計画の策定に向け、分野別ワーキング会議に参加していない市職員を含めた全市職員の意見・意向を把握するため、平成 29 年 1 月 20 日から平成 29 年 2 月 3 日を回答期限として市職員 296 人に対して、職員アンケート調査を実施した。職員アンケート調査では、郷づくり活動に対する考えや今後の方向性、今後のまちづくりとして大事にすべきこと、行政経営に関する意見、次期総合計画における各分野の施策の方向性等について、意見を収集した。

(イ) 調査結果

職員アンケート調査では、294 人（回収率 99.3%）の意見を収集した。主な回答結果は次のとおりである。

- ・ 勤続年数別の地域活動・行事への参加状況では、勤続年数が長いほど地域活動や行事への参加割合が高い（図 19）。
- ・ 「今後のまちづくりで大事にすべきこと」という設問では、こども（子育て支援）が 169 人で最も多く、次いで学校教育が 121 人であり、こどもや教育・学びの分野を大事にすべきという意見が多い（図 20）。
- ・ 市の組織上の課題という設問では、「他部・他課との情報共有・連携が図れていない」が 107 人（36.4%）で最も多い。「部内・課内の情報共有が図れていない」が 10 人（3.3%）であり、約 4 割の職員が、市役所内での情報共有に関して課題認識を持っている（図 21）。

図 19 勤務年数別の地域活動・行事への参加状況

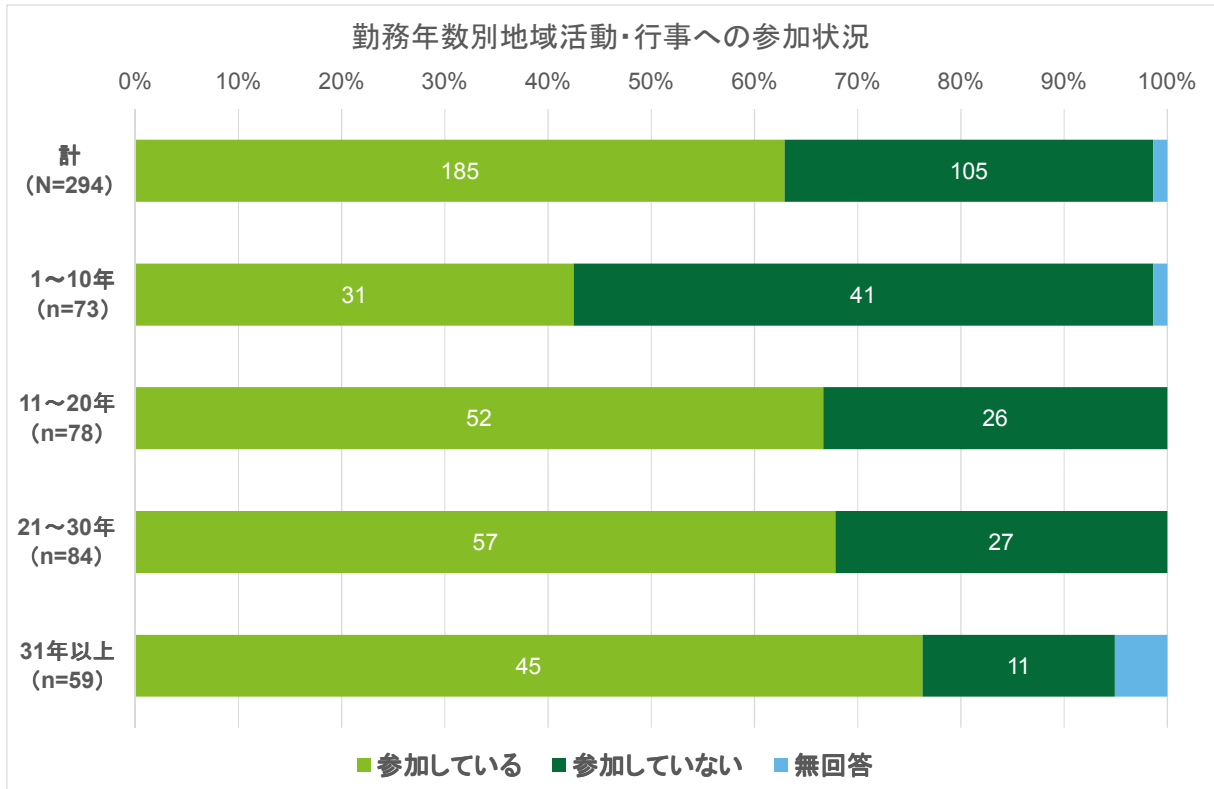


図 20 「今後のまちづくりで大事にすべきこと（複数回答）」の回答結果

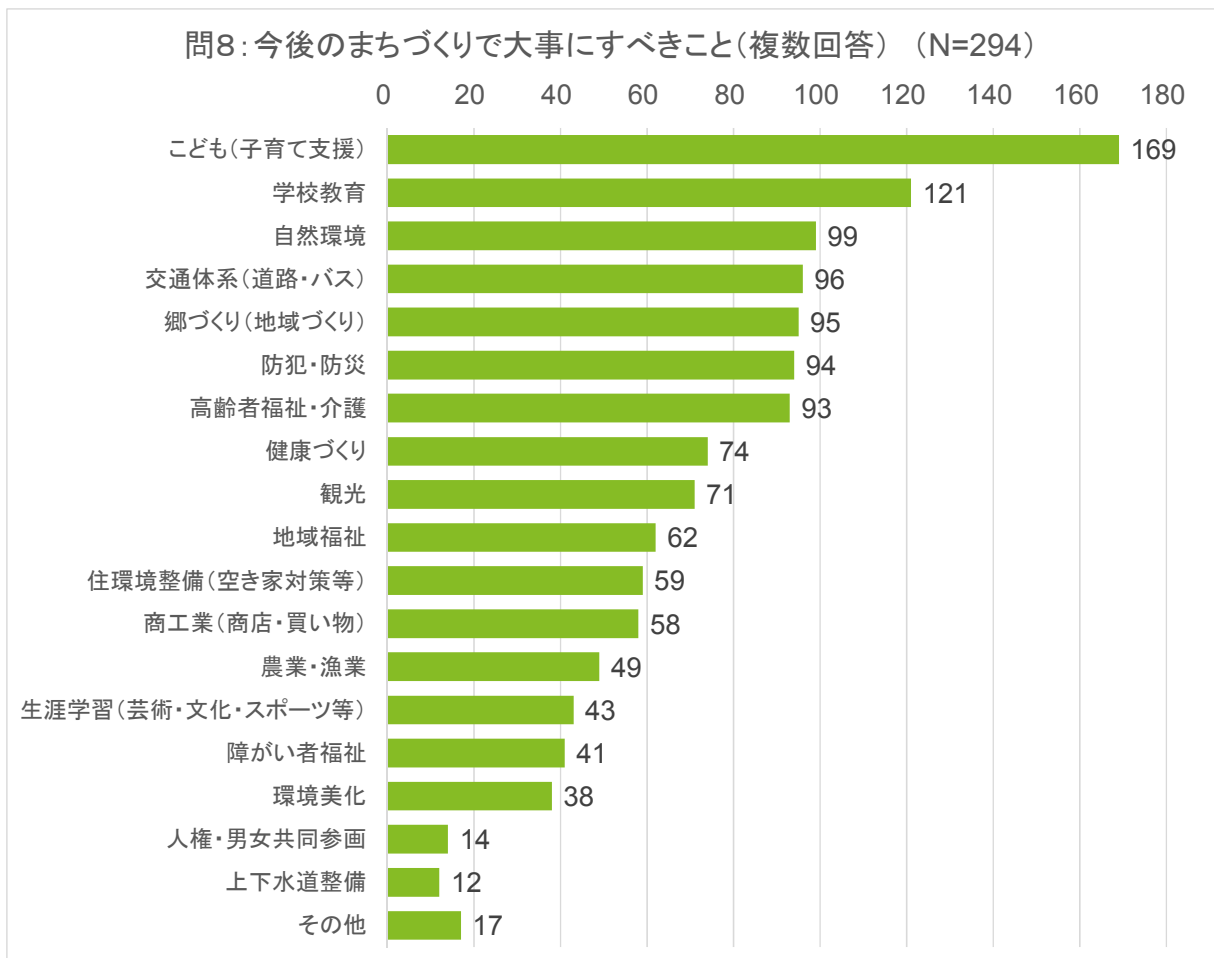
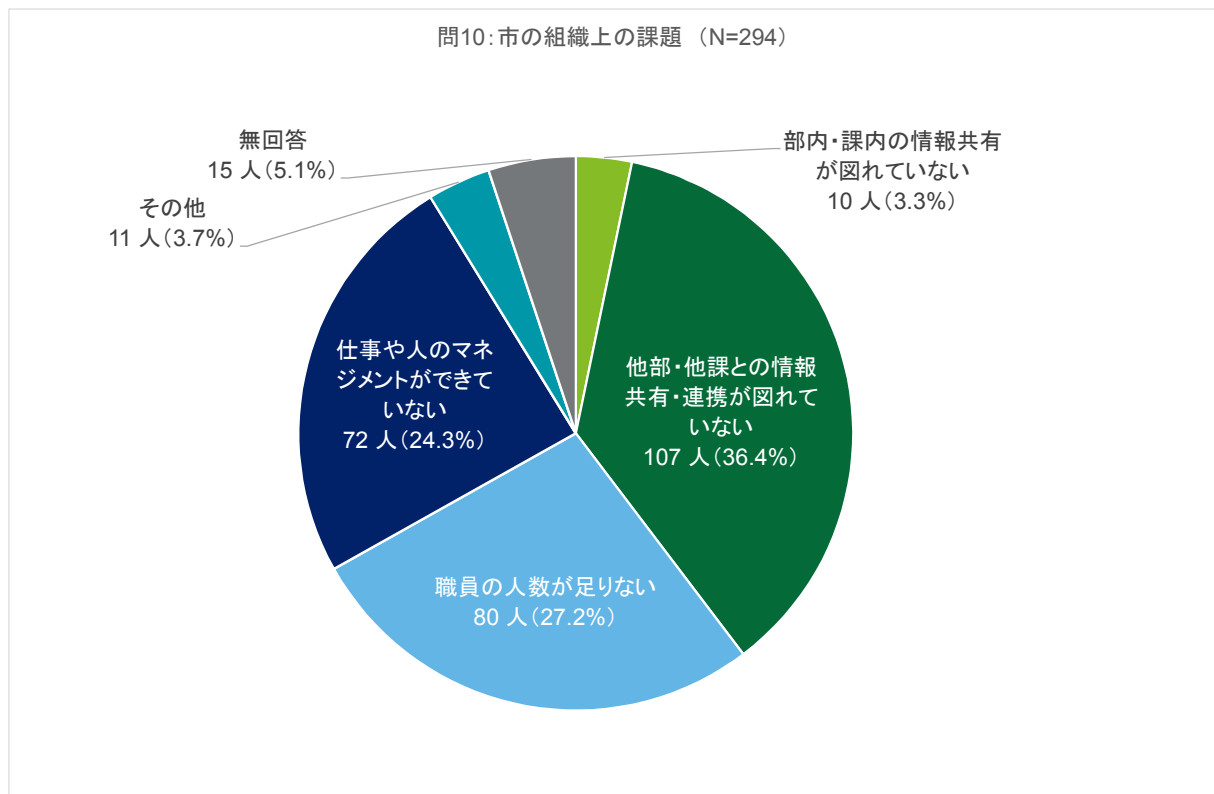


図 21 「市の組織上の課題」の回答結果



(4) 総合計画の施策体系（案）の作成

ア 総合計画の施策体系案（案）と各調査結果のまとめ

(1)～(3)の調査結果を踏まえ、次期総合計画の施策体系（案）について、図 22 のとおりに整理した。また、各調査結果のまとめとして、施策体系（案）の施策単位（一部施策については、政策単位）に「現状及び課題」「施策の方向性・あるべき姿に対する意見」「具体的な取組（事例・提案）」について整理した（図 23）。

図 22 施策体系 (案)

分野		政策		施策		備考(主な内容等)		主な部署	
01	地域	01	郷づくり	01	郷づくり活動基盤の充実	交付金、人的支援など		郷づくり支援課	
				02	郷づくり活動の推進	取組の支援など		郷づくり支援課	
		02	地域づくり	03	市民活動の推進	NPOの取組支援など		郷づくり支援課	
				04	官民協働の推進	連携事業の実施など		(未定)	
		03	環境	05	自然環境の保全	自然保護、生物保護など		うみがめ課	
				06	循環型社会形成の推進	リサイクル、再利用等		うみがめ課	
				07	地球温暖化防止	省・新エネルギーなど		うみがめ課	
				08	環境美化活動の推進	一斉清掃、アダプトなど		うみがめ課	
		04	防犯・防災	09	防犯・防災体制の充実	自主防災組織、消防団など		防災安全課	
				10	運営体制の構築(担い手の確保)	ボランティアの確保など		福祉課	
02	こども・教育	01	子育て支援	01	保育の確保	保育所・保育士の確保など		こども課	
				02	学童保育の確保	量・質の確保		こども課	
				03	切れ目ない子育て支援	相談、ケア、サービスなど		こども課	
		02	こども	04	こどもを取り巻く環境づくり	安全、地域、居場所など		こども課	
				05	こどもの健康の確保	乳幼児健診など		いきいき健康課	
		03	学校教育	06	教育環境の整備	施設整備、設備整備など		教育総務課	
				07	学力の向上(教育の充実)	学習支援など		学校教育課	
				08	健全な心身の育成	給食、健診など		学校教育課	
				09	学校・家庭・地域の連携推進	コミュニティスクールなど		学校教育課	
				10	福祉教育の充実	男女、人権、ユニバーサルデザインなど		男女、人権、行経など	
03	文化・教育	01	生涯教育	01	生涯学習の推進	公民館、図書館など		郷育推進課	
				02	人権啓発	男女、人権、ユニバーサルデザインなど		男女、人権、行経など	
				03	郷育の推進	郷育カレッジなど		郷育推進課	
				04	芸術・文化活動の振興	文化活動など		郷育推進課	
				05	世界遺産の整備・活用	世界遺産の整備、活用など		世界遺産登録推進室	
				06	スポーツの振興	地域スポーツなど		郷育推進課	
04	健康・福祉	01	健康・医療	01	保健医療体制(相談含む)	相談など		いきいき健康課	
				02	健康づくりの推進	健診、食育など		いきいき健康課	
				03	医療サービスの提供	国保、公費医療など		保険年金医療課	
		02	高齢者	04	地域包括ケア(相談含む)	体制の構築など		高齢者サービス課	
				05	介護予防の推進	認知症予防など		高齢者サービス課	
				06	高齢者福祉サービスの提供	介護保険、保険外など		高齢者サービス課	
		03	障がい者	07	障がい者自立支援の推進	就労支援など		福祉課	
				08	障がい者福祉サービスの提供	各種福祉サービスなど		福祉課	
		04	低所得者	09	低所得者自立支援の推進	就労支援など		福祉課	
				10	低所得者支援の推進	貧困対策など		福祉課	
05	生活環境	01	都市基盤整備	01	計画的な土地利用の推進	都市計画、開発など		都市管理課	
				02	交通体系の整備	道路整備、公共交通など		建設課	
				03	排水対策の推進	下水道、雨水対策など		下水道課	
				04	良好な景観の形成・維持	景観整備等		都市管理課	
				05	住宅環境の整備	住宅、空き家対策等		都市管理課	
06	産業振興	01	農業・漁業	01	経営基盤の強化	担い手確保、稼働力向上など		地域振興課	
				02	地産地消の推進	直売所など		地域振興課	
				03	ブランド化・外商	ブランド、外商、広報など		地域振興課	
		02	商工業	04	中心市街地	商店街、にぎわい創出など		地域振興課	
				05	大型商業施設との連携	(未定)		(未定)	
				06	企業誘致?	企業誘致など		行政経営企画課	
		03	観光	07	観光客受入体制の強化	交通、案内板、拠点整備など		地域振興課	
				08	交流人口の増加	イベントなど		地域振興課	
				09	世界遺産の整備・活用	世界遺産の整備、活用など		世界遺産登録推進室	
07	行政経営	01	行政経営	01	健全な行政経営の推進	行革、行政評価など		行政経営企画課	
				02	人材の育成と管理	人材育成など		総務課	
				03	公有財産の適正管理と有効活用	資産の有効活用など		財政課	
		02	情報発信・ICT	04	情報発信の強化	広報、HP、SNSなど		広報秘書課	
				05	ICTの活用	ICTの活用など		総務課	
		03	連携と協働	06	広域連携の推進	広域連携など		行政経営企画課	
				07	産学官連携の推進	産学官連携など		行政経営企画課	

図 23 各調査結果のまとめ（子育て支援）【一部抜粋】

仮実施体系	02 こども・教育	02 こども	04 こどもを取り巻く環境づくり	【略称】 《勝》：勝浦、《津》：津屋崎、《宮》：宮司、《福》：福岡 《神》：神興、《上》：上西郷、《神東》：神興東、 《福南》：福岡南
所管部署	健康福祉部	こども課		
関連部署				

市民・民間からの主な意見や提案

	現状及び課題	施策の方向性・あるべき姿に対する意見	具体的な取組(事例・提案)
地域別意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがスポーツをする場所が少ない 高校生の居場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てができる環境づくり 子どもたちが地域の中で安全に生活できる環境づくり(昔の団地のような世界) 子どもにやさしいまちづくり 放課後の子どもの居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が安心して遊べるスペースを地域に設置する 子どもの宿題(勉強)等を見てくれる場所を設置する エンゼルスポットに代わる中高校生の自習スペースがほしい 子どもたちが自由に遊ぶことのできる「プレーパーク」がほしい
民間と行政の意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> アンビシャス広場に登録している子どもは、1年前の20人程度から60人近くまで増加した 個人情報保護のため、クラスの名簿を配布されず、子ども同士で約束して遊びたくても親同士の連絡が取れない プレーパークは、土日の開催では足りない フクスタの利用人数は年々増加し、夏休みなどの繁忙期はスタッフの手が回っていない 	(分野別職員ワーキングにまとめて記載)	(分野別職員ワーキングにまとめて記載)
広報紙アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊ぶ場所、学習する場所が減っている フクスタは騒がしくて学習しにくい イオンのゲームセンターで遊ぶ子供が増えた 	子どもが安心して遊べる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> エンゼルスポットを存続してほしい プールや自然、小さな子どもでも遊べる遊具、自転車やボール遊びも安心して行えるような公園を増やしてほしい アンビシャス広場を会員の子どもにのみ開放するのではなく、地域の子も達が行き来できるようにしてほしい フクスタの休館日を月曜日以外の曜日にしてほしい 市内の公園を、条例などで禁煙してほしい
市民アンケート (自由記入欄を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊べる場所が少ない 《上》地域内に子どもが遊べる施設の利用のために親の送迎が必要であり、不便 	子どもの遊び場の確保	<ul style="list-style-type: none"> フクスタのように子どもが雨の日などでも遊べる所がほしい エンゼルスポットを継続してほしい 《宮》わかたけ広場をなくさないでほしい

市職員からの主な意見や提案

	現状及び課題	施策の方向性・あるべき姿に対する意見	具体的な取組(事例・提案)
分野別職員ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> 公園などで一人で遊ばせる家庭は減少傾向にあり、健康面での弊害が懸念される 学童、アンビシャス広場、塾などで子どもが忙しい状況にある 空き教室がなく、学校内に活動場所が確保できない ボランティアが高齢化している 自然に触れて親子で活動できる機会はある 社会の変化で地域の状況も変化している スマートフォンやタブレットを子どもに見せている親は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な公園づくり 学校外の活動場所の確保 地域と子どもの関わり方について検討 プレーパークの開催日の拡大 子どもに対する施設への交通手段の確保 学童保育とアンビシャス広場の一体的運用の検討 担い手(スタッフ、ボランティアなど)の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 公園への駐車場の設置 フクスタに来る子どものミニバス運賃の無料化(ただし、多くの子どもがミニバスに乗ることで、本来の目的である高齢者が乗れなくなる可能性あり)
職員アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の人口が今後も増えていくためには、安心とサービスが充実していることが重要である 居場所は家であるべき、官がつくる必要があるのか疑問である こども条例の否決は残念であった、子どもの話を聞く(学校以外で)場所や学校以外での居場所があることは重要ではないか 急激な人口増で、子育て分野もハード・ソフト面ともに不足が生じている 子どもの居場所が少ない。公園で、サッカーや野球などできないところも多い 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人たちが、子どもに関わり、関心をもつまちづくり 郷づくり協議会等との横断的連携 子どもの居場所よりも、子どもを理解してくれる、子どもと対話して見守ってくれる人材を増やすこと 公民館、郷づくりなどの共働による居場所づくり 市全体の情報共有と連携 	<ul style="list-style-type: none"> 郷づくりなど既存の枠組みや施設を活用し、高校生や大学生等の協力を得ながら、子どもの健全な発達に寄与できる施策が重要ではないか エンゼルスポットについて【異なる意見あり】 子どもや保護者の居場所として、これからも必要である 受益者が特定されており、市の施設としては不要である

以上